

R5年度 事業名	鯖江市国際交流協会事業補助金
R4年度 事業名	鯖江市国際交流協会事業補助金

総合戦略 体系	531	世界のめがねの聖地SABAEの確立 に向けた組織強化	人権尊重と地域連携の推進	共生社会の推進
------------	-----	-------------------------------	--------------	---------

PLAN (計画)	部署名	市民活躍課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	市民が企画し実施する国際交流・多文化共生事業を推進し、多様な文化に対する理解と個性や独創性を育むとともに、誰もが住み良い共生のまちづくりを目指す。				
	概要	鯖江市国際交流協会が行う国際交流サロン活動（いつでも誰でも国籍等を問わずに集い、相談ができる場所の設置・管理・運営＝市民活動交流センター内国際交流協会フロア）に対し助成をする。				
法令等 根拠		実施 形態	内容	申請者（鯖江市国際交流協会）からの申請に基づき、補助金を交付する。		
現在	補助金等交付					

DO (実施)	活動指標								
		指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	※設定困難			目標値					
				実績値					
	成果指標								
		指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	協会による国際交流窓口の開設日数		日	目標値	300	300	300		
				実績値	268	266	286		
	計算 根拠	国際交流に関する情報提供や外国人市民に対する支援の窓口を設置することで、市民による国際交流・多文化共生の拠点とする。（～2022）	達成率	89.3	88.7	95.3			
			実数値						
	窓口の利用者数		目標値				1,400	1,400	
			実績値						
	計算 根拠	窓口の開設日数×5人/日(2023～)	達成率						
			実数値						
			ランク		B	B	A		
前年度 ランク B、Cの 理由									

【単位:千円】

事業費	区分	2019	2020	2021	2022	2023	タイプ	会計	一般会計
	予算額	3,000	3,000	2,700	2,850	2,850		事業タイプ	単独事業
	決算額	3,000	3,000	2,700	2,850			経費区分	補助費等

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R5年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	2	1	16	601	国際交流事業補助金	3,120	2,850	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	2,850

No	R5年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	0.05
	会計年度職員	
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。
(1はい・0いいえ) はい いいえ

行政が実施すべき事業か。
(1はい・0いいえ) はい いいえ

住民等のニーズは増えているか。
(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)
 増加する見込み 横ばい 減少する見込み

国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。
(1ない・0ある) ない ある

事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。
(1ない・0ある) ない ある

合計点数	点数区分	次年度方向性の目安	判定
11	0点~8点	事務改善または 廃止・休止	維持または事務改善
	9点~16点	維持または 事務改善	

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)
 節減できている 横ばい 増加している

デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。
(2向上している・1横ばい・0低下している)
 向上している 横ばい 低下している

業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。
(2向上している・1横ばい・0低下している)
 向上している 横ばい 低下している

市民団体や事業者による業務委託しているか。
(1いる・0いない) いる いない

財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。
(1いる・0いない) いる いない

成果は目標を達成できているか。
(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)
 目標を達成できている 進展している 目標に向かっていない

ACTION

今年度 R5方向性⇒ 事務改善(手段・サービス水準の見直し)

取組内容 入管法改正やコロナ対策に伴う外国人市民増加に伴い、本事業の重要度は上がってきている。協会関係者との対話・連携を深めるとともに、外国人のための無料相談会や日本語教室、日本語ボランティア養成講座の開催など、団体の自発性を活かしながら外国人との交流促進と国際社会に対応できるまちづくり、ひとつづくりに対する支援を行う。

来年度へ向けて

R4年度実績 新型コロナウイルスによる施設利用の制限を受け、事業実施に支障が出ているが、ニーズの高い日本語教室を中心に活動を再開している。また、令和3年度は中止していた外国人市民対象のふれあい登山体験(文殊山)を実施するなど、コロナ禍での活動を模索しながら進めている。近隣市の国際交流協会との情報交換会もオンラインで定期的開催した。

R4年度実績とR5年度の経過を踏まえた課題
日本語教室や外国人向けの防災ツアーを中心に活動を再開しつつある。R4年度は日本や福井の文化体験研修など、コロナ禍の中でも可能な事業を積極的に実施していくことが求められる。

実績と課題を踏まえたR6年度の変更点
外国人に指導できる日本語ボランティア育成に取り組み、外国人市民との交流する機会を維持する。また、令和5年度作成予定の災害時外国人避難所マニュアルについて、その実効性を高めるための取り組みを進めていく。

R6方向性⇒ 事務改善(手段・サービス水準の見直し)

CHECK(次年度方向性の目安)とR6年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民役事業実施】

年度	2020	2021	2022	2023	2024
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R5年度事業名	
市民役事業にかかる額(単位千円):	0
R6年度事業名	
市民役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R5年度 事業名	NPO法人育成支援事業
R4年度 事業名	NPO法人育成支援事業

総合戦略 体系	251	若者が住みたくなるまちの創造	参加と協働による市民主役	市民主役事業の推進
------------	-----	----------------	--------------	-----------

PLAN (計画)	部署名	市民活躍課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	市民協働の市民側の担い手である市民活動団体の組織力や活動基盤を強化し、協働のまちづくりを推進する。				
	概要	市民団体の特定非営利法人化に要する経費およびNPO法人が組織および活動強化を目的に行う事業に対し助成する。				
法令等 根拠		実施 形態	内容	申請者(NPO法人格を取得した団体)からの申請に基づき、補助金を交付する。		
現在	補助金等交付					

DO (実施)	活動指標							
	指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	市民、市民活動団体およびボランティア団体への広報回数	回	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	0	0	0		
	成果指標							
	指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	市内におけるNPO法人数	法人	目標値	24	25	25	23	23
			実績値	24	25	23		
	計算 根拠	年間1NPOの新規法人化を推進する。	達成率	100	100	92		
			実数値					
		ランク	A	A	B			
前年度 ランク B、Cの 理由	NPO法人数が減ったため							

【単位:千円】

事業費	区分	2019	2020	2021	2022	2023	タイプ	会計	一般会計
	予算額	240	240	140	140	40		事業タイ	単独事業
	決算額	100	0	13	0			経費区分	補助費等

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R5年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	2	1	14	221	市民運動関係団体補助金	40	40	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	40

No	R5年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	0.05
	会計年度職員	
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ) <input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している) <input checked="" type="radio"/> 節減できている <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ) <input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している) <input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み) <input type="radio"/> 増加する見込み <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している) <input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある) <input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある	市民団体や事業者に業務委託しているか。(1いる・0いない) <input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある) <input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない) <input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
合計点数	8
点数区分	0点~8点
次年度方向性の目安	事務改善または廃止・休止
判定	事務改善または廃止・休止

ACTION

今年度 R5方向性⇒	事務改善(民間委託の導入・拡大)
取組内容	法人化を行った団体に対して、法人化に要する経費およびNPO法人が組織および活動強化を目的に行う事業に対し助成するという当該事業の周知徹底を図る。
来年度の実績	R3は約2年ぶりにNPO法人1件が申請、認証されたが、R4は実績がなかった。
R4年度実績とR5年度の経過を踏まえた課題	事業申請を行う団体との事前の打ち合わせ・情報交換が不可欠であり、情報収集能力や申請実務の支援といった細やかかつ継続的なサポートが必要であるため、相談窓口を持ち、NPO法人化のメリット・デメリットを熟知している機関が実施することが事業推進には必要と考えられる。
実績と課題を踏まえたR6年度の変更点	提案型市民主役事業への移行、あるいは上記の課題を踏まえて市民活動交流センターが実施する事業とすることが望ましい。
R6方向性⇒	休止
CHECK(次年度方向性の目安)とR6年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民主役事業実施】

年度	2020	2021	2022	2023	2024
取組選択	可能	不可能	可能	可能	可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R5年度事業名	NPO法人育成支援事業
市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

R6年度事業名	NPO法人育成支援事業
市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R5年度 事業名	市民提案による参加と協働のまちづくり事業(まちづくり基金事業)
R4年度 事業名	市民提案による参加と協働のまちづくり事業(まちづくり基金事業)

総合戦略 体系	251	若者が住みたくなるまちの創造	参加と協働による市民主役	市民主役事業の推進
------------	-----	----------------	--------------	-----------

PLAN (計画)	部署名	市民活躍課	開始年度	2006	終了年度	9999
	目的	市民提案による新たな公益的事業を創造することで、市民の公共サービスへの参画を進め、参加と協働による市民主役のまちづくりを推進する。				
	概要	市民団体が自主・自発的に行う、まちづくりに役立つ公益的事業の実践を促進するため、補助金を交付する。未来創造型まちづくり部門(上限50万円)およびチャレンジまちづくり部門(上限20万円)の2部門で実施。				
法令等 根拠		実施 形態	内容	申請者からの申請(事業提案)に基づき、市民委員による審査委員会の決定を受け補助金を交付する。		
現在	補助金等交付					

DO (実施)	活動指標							
	指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	まちづくり基金事業の広報	回	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	1	1	1		
	市民活動団体等へのまちづくり基金事業への応募勧奨通知件数	件	目標値	110	110	110	110	110
			実績値	54	122	118		
	成果指標							
	指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	まちづくり基金提案事業数のうち新規提案された事業の数の比率	%	目標値	50	50	50	50	50
			実績値	85.7	95.5	69.2		
	計算 根拠	新規事業の提案を半数以上確保し、市民団体が行う新たな公益的事業を 発掘する。	達成率	171.4	191.0	138.4		
			実数値	6/7	21/22	9/13		
			ランク	A	A	A		
	前年度 ランク B、Cの 理由							

【単位:千円】

事業費	区分	2019	2020	2021	2022	2023	タイプ	会計	一般会計
	予算額	1,500	1,500	5,000	4,000	4,000		事業タイ	単独事業
	決算額	1,468	300	4,999	3,995			経費区分	補助費等

歳出予算	No	款	項	目	事業	R5年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	2	1	14	601	市民協働まちづくり基金事業費	4,000	4,000
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	4,000

補助金等	No	R5年度補助金等名称	金額(千円)
	1		
	2		
	3		
	4		
	5以降		
		合計	0

事業要員	正規職員	0.1
	会計年度職員	
	※所要時間	0

DO(実施)

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ)	<input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ)	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	<input checked="" type="radio"/> 増加する見込み <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある)	<input type="radio"/> ない <input checked="" type="radio"/> ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
合計 点数	12
点数区分	0点~8点 9点~16点
次年度方向性の 目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

効率性	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	<input checked="" type="radio"/> 節減できている <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	<input checked="" type="radio"/> 向上している <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	<input checked="" type="radio"/> 向上している <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
	市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
有効性	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
	成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	<input checked="" type="radio"/> 目標を達成できている <input type="radio"/> 進展している <input type="radio"/> 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R5方向性⇒	維持
取組内容	まちづくり基金事業の運営を継続しながら、この基金をステップにして、提案型市民主役事業の受け皿となる団体や、国などの交付金・補助金を受け比較的規模の大きな事業を受託する団体、新たな地域密着型の団体を育成する。	
来年度へ向けて	R4年度の実績	多様な市民団体の活躍を支援するため制度を精査して、R3年度より2部門を改定した。当該制度に初めて申請する団体も多く、幅広い層の市民団体がまちづくりに参画できるきっかけとなる事業となった。
	R4年度実績とR5年度の経過を踏まえた課題	令和4年度は20事業、令和5年度は14事業の応募があり、まちづくりに参画する市民団体は一定数増えているといえる。事業目的のとおりに、この基金をステップとして、提案型市民主役事業の受け皿となる団体や、国などの交付金・補助金を受け比較的規模の大きな事業を受託する団体、新たな地域密着型の団体育成を進める。
	実績と課題を踏まえたR6年度の変更点	特になし
	R6方向性⇒	維持
	CHECK(次年度方向性の目安)とR6年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民主役事業実施】

年度	2020	2021	2022	2023	2024
取組選択	可能	可能	可能	可能	可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R5年度事業名	市民提案による参加と協働のまちづくり事業(まちづくり基金事業)
	市民主役事業にかかる額(単位千円): 4,000
R6年度事業名	市民提案による参加と協働のまちづくり事業(まちづくり基金事業)
	市民主役事業にかかる額(単位千円): 4,000

取組可能な事業の詳細⇒

R5年度 事業名	災害ボランティアセンター連絡会支援事業
R4年度 事業名	災害ボランティアセンター連絡会支援事業

総合戦略 体系	431	安心で快適に暮らせるまちの創造	強靱で安全・安心なまち	防災・防犯対策の推進
------------	-----	-----------------	-------------	------------

PLAN (計画)	部署名	市民活躍課	開始年度	2005	終了年度	9999
	目的	大規模な自然災害に備えるため、災害時にボランティアの活動拠点として設置される「災害ボランティアセンター」の活動がスムーズに行われるよう官民共同で設置された災害ボランティアセンター連絡会の活動を支援する。				
	概要	災害ボランティアセンターの活動の中核を担うリーダーとなるスタッフを養成するために、連絡会での必要な研修支援を行う。事業は鯖江市社会福祉協議会への委託により実施する。				
	法令等 根拠	災害対策基本法、鯖江市地域防災計画	実施 形態	内容		
現在	民間等委託(全部)	従前から市と共同事務局を担っていた鯖江市社会福祉協議会に事務委託を行う。				

DO (実施)	活動指標							
	指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	災害ボランティアセンター連絡会活動事業実施回数※～2021年度	回	目標値	4	4			
			実績値	-	4			
	災害ボランティアセンター連絡会活動事業数※2022年度～	事業	目標値			3	3	3
			実績値			3		
	成果指標							
	指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	災害ボランティアセンター連絡会活動に関わる人数(延べ数)	人	目標値	300	300	100	100	100
			実績値	-	85	92		
計算 根拠		達成率	-	28.3	92			
		実数値						
		ランク	-	C	B			
前年度 ランク B、Cの 理由	コロナ禍により総合防災訓練の災害ボランティアセンターブースを訪れる参加者が少なかったため。							

【単位:千円】

事業費	区分	2019	2020	2021	2022	2023	タイプ	会計	一般会計
	予算額	55	58	58	58	58		事業タイプ	単独事業
	決算額	55	0	58	58			経費区分	物件費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R5年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	2	1	14	231	災害ボランティア育成事業費	58	58	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	58

No	R5年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	0.1
	会計年度職員	0
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ) <input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ	改善を行い、コストの削減を図っているか。(2節減できている・1横ばい・0増加している) <input type="radio"/> 節減できている <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ) <input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している) <input checked="" type="radio"/> 向上している <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み) <input checked="" type="radio"/> 増加する見込み <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している) <input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある) <input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある	市民団体や事業者に業務委託しているか。(1いる・0いない) <input checked="" type="radio"/> いる <input type="radio"/> いない
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある) <input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない) <input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
合計点数	11
点数区分	0点~8点
次年度方向性の目安	事務改善または廃止・休止
判定	維持または事務改善

ACTION

今年度 R5方向性⇒	事務改善(手段・サービス水準の見直し)
取組内容	鯖江市災害ボランティアセンター連絡会に新しく鯖江ライオンズクラブ、鯖江王山ライオンズクラブに加わっていただき、南越前町の災害を教訓とした総合防災訓練(災害ボランティア設置の連絡体制の確認等)と、より一般市民が参加しやすい研修を実施する。
来年度へ向けて	R4年度実績 R4年度の実績 県内外の災害状況を踏まえた災害ボランティアセンターの運営方法についての研修会を行った。具体的には、南越前町災害ボランティアセンターの実状、活動報告と、災害ボランティアと昨今のボランティアのあり方の研修会を行った。
	R4年度実績とR5年度の経過を踏まえた課題 全国で災害が多発する中、災害ボランティアのスムーズな受け入れ態勢を維持すべく、連絡会自体は存続していく必要がある。また、災害ボランティア活動自体の感染症対策も進めることが不可欠である。
	実績と課題を踏まえたR6年度の変更点 これまでPR・研修等を行っていた「ボランティアの集い」や「市防災訓練」等がコロナ禍の影響で中止等になっていたが、段階を経て再開が予定されているなかで、連絡会のメンバーと情報交換を図りながら、必要な情報発信・訓練を実施する。その上で、図上訓練ゲームの想定内容を時代に即したものとるように工夫をしたり、研修会のテーマを一般市民の参加も促すようなものにしていく。
R6方向性⇒	維持
	CHECK(次年度方向性の目安)とR6年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民役事業実施】

年度	2020	2021	2022	2023	2024
取組選択	可能	可能	可能	可能	不可能
実施状況	実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R5年度事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

R6年度事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R5年度 事業名	多文化共生事業(生活支援、多言語ガイド)
R4年度 事業名	多文化共生事業(生活支援、多言語ガイド)

総合戦略 体系	531	世界のめがねの聖地SABAEの確立 に向けた組織強化	人権尊重と地域連携の推進	共生社会の推進
------------	-----	-------------------------------	--------------	---------

PLAN (計画)	部署名	市民活躍課	開始年度	2006	終了年度	9999
	目的	同じ地域に暮らす隣人として地域住民と在住外国人との間の相互理解を育むことで、誰もが住みやすい多文化共生のまちづくりを目指す。				
	概要	A:多文化共生事業(生活支援)、B:多文化共生事業(多言語ガイド) A① 在住外国人生活相談への通訳者等派遣事業・・・外国人市民が日常生活を営むうえで必要な相談支 援のための通訳者等の派遣を行う。 A② 「災害弱者」になりやすい外国人市民を集めて防災意識を高めてもらうツアーを企画するとともに、BBQなどで交流する。 A③外国人コミュニティーリーダーとの連携を強化し、災害時に必要な情報が届けられる外国人ネットワークを構築する。 B①外国人市民のための生活ガイドブック作成・・・転入してきた外国人市民向けに、市民生活に必要な情報を多言語でお知らせするための冊子「鯖江なんでも辞典」を発行する。令和4年度は既存の英語版・ポルトガル語版・ベトナム語版・中国語版の各版のうち主要な部分を改訂・翻訳する。				
	法令等 根拠		実施 形態	内容 外国人市民を対象とした防災啓発事業や、生活相談への通訳等の派遣などを、鯖江市国際交流協会に委託する。		
現在	民間等委託(全部)					

DO (実施)	活動指標								
	指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024	
	外国人に対する防災対策講座等開催数	回	目標値	1	1	1	1	1	
			実績値	0	1	1			
	多言語ガイドブックの作成(更新)数	回	目標値			1	1	0	
			実績値			1			
	成果指標								
	指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024	
	国際交流員および通訳者等派遣人数	人	目標値	6	6	6	6	6	
			実績値	13	14	9			
	計算 根拠	※事業概要変更に伴い、指標変更(H27年度)		達成率	216.7	233.3	150		
				実数値		9			
	外国人に対する防災対策講座等の参加人数	人	目標値			15	15	15	
			実績値			13			
	計算 根拠	2021年度の参加者数を基に設定		達成率		86.7			
		実数値							
			ランク	A	A	B			
前年度 ランク B、Cの 理由	コロナ禍により講座参加を控えた方々があり、想定より参加者が少なかったため。								

【単位:千円】

事業費	区分	2019	2020	2021	2022	2023	タイプ	会計	一般会計
	予算額	486	486	370	781	781		事業タイプ	単独事業
	決算額	486	81	370	781			経費区分	補助費等

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R5年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
1	2	1	16	202	国際交流事業費	781	781
2							
3							
4							
5以降							
						合計	781

No	R5年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	
	会計年度職員	
	※所要時間	40

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ) <input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している) <input type="radio"/> 節減できている <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ) <input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している) <input checked="" type="radio"/> 向上している <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み) <input checked="" type="radio"/> 増加する見込み <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している) <input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある) <input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある	市民団体や事業者に業務委託しているか。(1いる・0いない) <input checked="" type="radio"/> いる <input type="radio"/> いない
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある) <input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない) <input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
合計点数	11
点数区分	0点~8点
次年度方向性の目安	事務改善または廃止・休止
判定	維持または事務改善

ACTION

今年度 R5方向性⇒	事務改善(手段・サービス水準の見直し)
取組内容	A①②③市民主役事業として、市役所等での各種手続きに対する通訳派遣および外国人市民に防災知識を高めてもらうことを中心とした啓発事業を、市民主役事業として実施する。 B①鯖江市国際交流協会からの提案で、生活ガイドブックの英語、ベトナム語、ポルトガル語、中国語版の主要部分を改訂する。
来年度の実績	国際交流員および通訳者等派遣人数は目標を超えた。また、ゴミの分別の講習を行い、外国人ネットワークの構築講習を実施した。移住してきた外国人市民に配る生活ガイドブック「鯖江なんでも辞典」は、計5か国語版あるうち、4か国語(ポルトガル語、ベトナム語、中国語、英語版)の3章分を改訂した。
R4年度実績とR5年度の経過を踏まえた課題	通訳者等派遣と防災啓発事業は引き続き実施していく。生活ガイドブック「鯖江なんでも辞典」は、令和4年度に改訂した3章分と、残りの5章分を令和5年度に改訂する。外国人用の災害時避難所マニュアル作成など時代に即した内容を盛り込んだ実践的で読みやすいものになるよう、連携を取って行く必要がある。
実績と課題を踏まえたR6年度の変更点	外国人に対する防災対策等のために、やさしい日本語講座を行い、外国人と日本人の意思疎通する働きかけを行い、外国人市民が日常生活を営むうえで必要な相談支援のための通訳者等の派遣も併せて広めていきたい。
R6方向性⇒	事務改善(手段・サービス水準の見直し)
CHECK(次年度方向性の目安)とR6年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民主役事業実施】

年度	2020	2021	2022	2023	2024
取組選択	可能	可能	可能	可能	可能
実施状況	実施	実施	実施	未実施	未実施

R5年度事業名	多文化共生事業(生活支援、多言語ガイド)
	市民主役事業にかかる額(単位千円): 781

R6年度事業名	多文化共生事業(生活支援、多言語ガイド)
	市民主役事業にかかる額(単位千円): 781

取組可能な事業の詳細⇒

R5年度 事業名	交通指導員支援事業
R4年度 事業名	交通指導員支援事業

総合戦略 体系	433	安心で快適に暮らせるまちの創造	強靱で安全・安心なまち	交通安全の推進
------------	-----	-----------------	-------------	---------

PLAN (計画)	部署名	市民活躍課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	警察および交通安全推進団体等と緊密な連携を取りながら、鯖江市交通指導員設置要綱に基づき市長が委嘱した交通指導員の活動を支援することにより、交通事故防止を図る。				
	概要	市内各所の車両交通量が多い路線で、早朝または夕方に街頭指導を行う。また、スポーツイベントなど市内の主要なイベントにて、市民の安全誘導を行い、交通安全思想の普及に努める。				
	法令等 根拠	鯖江市交通指導員設置要綱	実施 形態	内容		
現在	市直営	要綱に基づき市長が委嘱する交通指導員に対して、報酬や被服貸与等の支援を行っている。				

DO (実施)	活動指標							
	指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	交通指導員の人数		目標値	40	40	40	40	40
			実績値	23	21	20		
	成果指標							
	指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	早朝、薄暮時の交通指導実施回数	回	目標値	40	40	40	40	40
			実績値	32	41	40		
	計算 根拠		達成率	80	102.5	100		
			実数値					
		ランク	B	A	A			
前年度 ランク B、Cの 理由								

【単位:千円】

事業費	区分	2019	2020	2021	2022	2023	タイプ	会計	一般会計
	予算額	2,771	2,598	2,464	2,417	2,220		事業タイプ	単独事業
	決算額	2,385	2,215	2,240	1,798			経費区分	人件費

No	款	項	目	事業	R5年度事業名			
					予算書額	うち事業額(千円)		
1	2	1	9	201	交通安全対策諸経費	9,451	2,220	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	2,220

No	R5年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	0.35
	会計年度職員	
	※所要時間	0

DO(実施)

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ)	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ)	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	<input type="radio"/> 増加する見込み <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
合計点数	10
点数区分	0点~8点 9点~16点
次年度方向性の目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	<input type="radio"/> 節減できている <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
市民団体や事業者による業務委託しているか。(1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
成果は目標を達成できているか。(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	<input checked="" type="radio"/> 目標を達成できている <input type="radio"/> 進展している <input type="radio"/> 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R5方向性⇒ <input type="text" value="維持"/>
取組内容	鯖江市が委嘱した交通指導員が市内の交通安全を保持するための活動に対して報償費・被服の貸与等の支援を行う。また併せて交通指導員募集に関する広報を行う。
来年度の実績	R4年度 交通指導員については、R4年度末に6人が退会し、R5年度は14名となる。
R4年度実績とR5年度の経過を踏まえた課題	現在活動中の交通指導員の高齢化が進んでおり、今後、減少していくことが懸念される。また、近年の猛暑・酷暑による体調不良なども危惧される状況である。若い世代の交通指導員を見つけていることが課題である。
実績と課題を踏まえたR6年度の変更点	交通指導員の活動等について、市交通指導員会の皆さんと話し合いを行い見直し・検討を行うことで、持続可能な交通指導員活動の構築を図っていく。
R6方向性⇒	<input type="text" value="維持"/>
CHECK(次年度方向性の目安)とR6年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民役事業実施】

年度	2020	2021	2022	2023	2024
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R5年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円): <input type="text" value="0"/>
R6年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円): <input type="text" value="0"/>

取組可能な事業の詳細⇒

R5年度 事業名	交通指導員会運営補助事業
R4年度 事業名	交通指導員会運営補助事業

総合戦略 体系	433	安心で快適に暮らせるまちの創造	強靱で安全・安心なまち	交通安全の推進
------------	-----	-----------------	-------------	---------

PLAN (計画)	部署名	市民活躍課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	各種交通安全啓発事業を行う鶴江市交通指導員会に対し補助金を交付することにより、活動事業の推進を図る。				
	概要	街頭指導のほか、カーブミラー清掃、交通安全茶屋の開設等の事業に対し、活動補助として補助金を交付する。				
法令等 根拠		実施 形態	内容	交通指導員会の運営補助		
現在	補助金等交付					

DO (実施)	活動指標							
	指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	※設定困難		目標値					
			実績値					
	成果指標							
	指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	交通安全イベント等の開催回数	回	目標値	4	4	10	10	10
			実績値	8	14	13		
	計算 根拠	交通安全イベントの件数(小学生・高齢者への指導・啓発、安全茶屋、カーブミラー清掃、シートベルト啓発、駐車ハトロール、つつじマラソン、防災訓練、無謀運転監視、県駅伝)	達成率	200	350	130		
			実数値					
		ランク	A	A	A			
前年度 ランク B、Cの 理由								

【単位:千円】

事業費	区分	2019	2020	2021	2022	2023	タイプ	会計	一般会計
	予算額	360	360	324	370	360		事業タイプ	単独事業
	決算額	360	270	324	360			経費区分	補助費等

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R5年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	2	1	9	601	交通安全協会補助金等	610	360	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	360

No	R5年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	0.1
	会計年度職員	
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ) <input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している) <input type="radio"/> 節減できている <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ) <input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している) <input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み) <input type="radio"/> 増加する見込み <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している) <input checked="" type="radio"/> 向上している <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある) <input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある	市民団体や事業者による業務委託しているか。(1いる・0いない) <input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある) <input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない) <input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
合計点数	10
点数区分	0点~8点
次年度方向性の目安	事務改善または廃止・休止
判定	維持または事務改善

ACTION

今年度 R5方向性⇒ <input type="text" value="維持"/>	取組内容 市が委嘱している交通指導員で構成される会が実施する、交通安全茶屋やカーブミラー清掃など交通安全保持のために必要な交通安全啓発に関する活動に対し支援を行う。
来年度へ向けて R4年度の実績	つつじマロン交通整理(1回)、駅伝選手権大会での交通整理(1回)、小学校での交通安全教室補助(6回)、カーブミラー清掃(1回)、自主研修会(1回)、福井県交通安全県民大会(1回)、鯖江市交通死亡事故半年ゼロ賛辞(1回)、交通安全祈願祭(1回)出席
R4年度実績とR5年度の経過を踏まえた課題	R4年度は小学生・高齢者への指導啓発やつつじマロンなどの出勤に加え、カーブミラー清掃やシートベルト啓発などの自主事業を実施した。また、交通事故0に向けて小学生・高齢者への指導啓発は重要であることから、引き続き積極的に自主事業を実施する必要がある。交通指導員の高齢化が懸念事項。
実績と課題を踏まえたR6年度の変更点	交通指導員の減少傾向も踏まえ、交通指導員の日常の活動や指導員会の運営等について、指導員の皆さんと話し合いを行い見直し・検討を行うことで、持続可能な交通指導員会活動の構築を図っていく。
R6方向性⇒ <input type="text" value="維持"/>	CHECK(次年度方向性の目安)とR6年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民役事業実施】

年度	2020	2021	2022	2023	2024
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R5年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円): <input type="text" value="0"/>
R6年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円): <input type="text" value="0"/>

取組可能な事業の詳細⇒

R5年度 事業名	交通安全協会補助事業
R4年度 事業名	交通安全協会補助事業

総合戦略 体系	433	安心で快適に暮らせるまちの創造	強靱で安全・安心なまち	交通安全の推進
------------	-----	-----------------	-------------	---------

PLAN (計画)	部署名	市民活躍課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	交通事故の防止を図るための啓発、広報、教育活動を行う鯖江交通安全協会に、補助金を交付することにより、交通安全の保持と交通安全思想の普及を図る。				
	概要	交通道德の高揚、交通事故防止等の啓発・広報				
法令等 根拠		実施 形態	内容	交通安全協会の活動に対する補助		
現在	補助金等交付					

DO (実施)	活動指標							
	指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	※設定困難		目標値					
			実績値					
	成果指標							
	指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	小・中学校新生に交通安全腕章の贈呈	回	目標値		1	1	1	1
			実績値		1	1		
	計算 根拠	安全教室等の開催回数(小中高生、幼児、保護者、高齢者、自転車教室) H23より交通安全教室の内容の見直しを行いH24より目標値が変更となった。コロナ禍により安全教室が開催されないため目標値を変更	達成率		100	100		
			実数値					
	ランク		A	A	A			
前年度 ランク B、Cの 理由								

【単位:千円】

事業費	区分	2019	2020	2021	2022	2023	タイプ	会計	一般会計
	予算額	450	450	250	250	250		事業タイ	単独事業
	決算額	450	270	250	250			経費区分	補助費等

DO(実施)

歳出予算	No	款	項	目	事業	R5年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	2	1	9	601	交通安全協会補助金等	610	250
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	250

補助金等	No	R5年度補助金等名称	金額(千円)
	1		
	2		
	3		
	4		
	5以降		
		合計	0

事業要員	正規職員	0.05
	会計年度職員	
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ)	<input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ)	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	<input checked="" type="radio"/> 増加する見込み <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある)	<input type="radio"/> ない <input checked="" type="radio"/> ある
合計点数	10
点数区分	0点~8点 9点~16点
次年度方向性の目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

効率性	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	<input checked="" type="radio"/> 節減できている <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
	市民団体や事業者による業務委託しているか。(1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
有効性	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
	成果は目標を達成できているか。(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	<input checked="" type="radio"/> 目標を達成できている <input type="radio"/> 進展している <input type="radio"/> 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R5方向性⇒	維持
取組内容	警察所管の交通安全協会に対し、小中新1年生への交通安全グッズの配布、子ども自転車大会、運転者講習会開催等の活動に対し補助金を交付する。当協会との連携を密にして、交通安全教室等の開催数の増加に向けて働きかける。	
来年度へ向けて	R4年度の実績	R4年度は、小中新1年生への交通安全グッズの配布、県子ども自転車大会参加、運転者講習会開催など、交通安全啓発活動や交通安全教育等を実施し、交通安全意識向上と交通事故防止を図った。
	R4年度実績とR5年度の経過を踏まえた課題	小中新1年生への交通安全グッズの配布、県子ども自転車大会、運転者講習会開催などを実施することで、R5.4月から自転車の乗車用ヘルメット着用努力義務法制化などを推進し、交通安全にかかる機運が広まっていくことが期待される。
	実績と課題を踏まえたR6年度の変更点	特になし
	R6方向性⇒	維持
	CHECK(次年度方向性の目安)とR6年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民役事業実施】

年度	2020	2021	2022	2023	2024
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R5年度事業名	
市民役事業にかかる額(単位千円):	0
R6年度事業名	
市民役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R5年度 事業名	交通安全対策推進事業
R4年度 事業名	交通安全対策推進事業

総合戦略 体系	433	安心で快適に暮らせるまちの創造	強靱で安全・安心なまち	交通安全の推進
------------	-----	-----------------	-------------	---------

PLAN (計画)	部署名	市民活躍課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	年4回行われる交通安全県民運動を実施し、交通事故防止、交通安全思想の普及と交通安全意識の高揚を図る。 また、交通安全教室を開催し、交通事故の防止と交通安全教育の徹底を行うとともに、幼児・高齢者用広報ポスター等を配布し、交通安全思想の普及を図る。				
	概要	交通事故防止対策協議会を開催するなど、市内の交通安全推進団体や公共的団体と連携した交通安全市民運動を実施し、啓発用チラシ等の作成・配布により、交通事故防止を呼び掛け、交通安全思想の普及と意識の高揚を図る。 また、交通安全教育指導員(2名)により幼児・児童および高齢者を対象に交通安全教室を開催し、交通事故の防止と交通安全教育の徹底を行う。また、交通安全の啓発用ポスターやチラシを作成し、交通安全思想の普及に努める。				
	法令等 根拠	交通安全対策基本法、福井県交通安全実施計画	実施 形態	内容		
現在	市直営		交通安全県民運動への参加や交通安全教室の開催など、交通安全思想の普及に努める。			

DO (実施)	活動指標							
	指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	交通安全等イベント開催数	回	目標値	4	3	3	3	3
			実績値	3	3	3		
	幼児、小・中学校、高齢者交通安全教室開催数	回	目標値			130	140	140
			実績値			158		
	成果指標							
	指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	交通安全イベント参加者数	人	目標値	150	150	150	150	150
			実績値	40	152	272		
	計算 根拠	交通安全県民運動における啓発活動参加者数	達成率	26.7	101.3	181.3		
	交通安全教室等の参加者数	人	目標値			9,000	9,000	9,000
			実績値			9,947		
	計算 根拠	幼児、小・中学校、高齢者交通安全教室参加者数および出前講座参加者数	達成率			110.5		
			実績値					
		ランク	C	A	A			
前年度 ランク B、Cの 理由								

【単位:千円】

事業費	区分	2019	2020	2021	2022	2023	タイプ	会計	一般会計
	予算額	223	227	199	1,332	671		事業タイ	単独事業
	決算額	166	68	60	1,200			経費区分	物件費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R5年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	2	1	9	201	交通安全対策諸経費	9,451	671	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	671

No	R5年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	0.4
	会計年度職員	
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ) <input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している) <input type="radio"/> 節減できている <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ) <input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している) <input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み) <input type="radio"/> 増加する見込み <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している) <input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある) <input type="radio"/> ない <input checked="" type="radio"/> ある	市民団体や事業者による業務委託しているか。(1いる・0いない) <input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある) <input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない) <input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
合計点数	9
点数区分	0点~8点
次年度方向性の目安	事務改善または廃止・休止
判定	維持または事務改善

ACTION

今年度 R5方向性⇒	維持
取組内容	R4年度までは、コロナ禍により縮小していた事業(交通安全教室事業等)をR5年度はコロナ禍前の水準に回復していくとともに、交通安全県民運動に併せて、交通安全啓発活動を継続する。また、R5、4月から努力義務(法制化)となった自転車の乗車用ヘルメット着用を推進していく。
来年度の実績	R4年度は、交通安全啓発は必要であることから、感染対策を講じた、福井県交通安全県民運動に併せ、啓発活動を行った。R4年度には交通安全教室では子どもから高齢者まで交通安全危険予測能力の向上のために、交通安全教育教材「動画KYT(交通安全危険予測トレーニング)」を購入(財源:連携協定企業からの寄付金)し、交通安全教室等で活用した。
来年度へ向けて	R4年度実績とR5年度の経過を踏まえた課題 R4年度までは、コロナ禍により縮小していた事業(交通安全教室事業等)については、R5年度はコロナ禍前の水準に回復しているが、交通安全県民運動に併せて実施している交通安全啓発活動や、R5、4月から努力義務(法制化)となった自転車の乗車用ヘルメット着用の効果的な推進については警察等関係機関と連携しながらすすめていく必要がある。
実績と課題を踏まえたR6年度の変更点	特になし
R6方向性⇒	維持
CHECK(次年度方向性の目安)とR6年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民役事業実施】

年度	2020	2021	2022	2023	2024
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R5年度事業名	
市民役事業にかかる額(単位千円):	0

R6年度事業名	
市民役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R5年度 事業名	融和と協働のまちづくり(区長会への交付金)事業
R4年度 事業名	融和と協働のまちづくり(区長会への交付金)事業

総合戦略 体系	251	若者が住みたくなるまちの創造	参加と協働による市民主役	市民主役事業の推進
------------	-----	----------------	--------------	-----------

PLAN (計画)	部署名	市民活躍課	開始年度	2005	終了年度	9999
	目的	区長会連合会、地区区長会、町内会が自主的に取り組む、「歴史、伝統、文化、生活、産業、自然、環境などの地域資源を活かした事業」、「地域活性化に資する事業」に対し交付金を交付し、個性的な地域づくりや地域の活性化を推進する。また、自らが交付金の有効活用のため知恵を出し合うことにより、地域の自立を促す。				
	概要	主に「1連合会交付金」「2地区交付金」「3町内交付金」の3つから構成され、2～3については、使用目的を定めない交付金の利点を活かして地区や町内で自由に活用されている。また、住民参加によるまちづくりを推進するため「花によるまちづくり交付金」「まちづくり応援団交付金」「十区色づくり交付金」を交付する。				
	法令等 根拠		実施 形態	内容		
現在	補助金等交付		各種係数を元に交付対象者に交付する交付金の額を計算。申請者からの申請により交付している。			

DO (実施)	活動指標							
	指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	まちづくりイベントを開催している地区数	地区	目標値	10	10	10	10	10
			実績値	10	10	10		
	成果指標							
	指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	10地区の主なまちづくりイベントの参加者数	人	目標値	100,000	100,000	20,000	40,000	80,000
			実績値	14,702	16,525	17,461		
	計算 根拠	一人ひとりが積極的にまちづくり活動に参加してもらおう。H24から「うるしの里まつり」分を除外する。 コロナ禍の現状にあわせて、2022年から目標値の設定の見直しを段階的に	達成率	14.7	16.5	87.3		
			実数値					
		ランク	C	C	B			
前年度 ランク B、Cの 理由	各地区でウォーキングなどのイベントを開催していたが、コロナ禍により納涼祭などのイベントは行えなかったため。							

【単位:千円】

事業費	区分	2019	2020	2021	2022	2023	タイプ	会計	一般会計
	予算額	77,810	77,910	73,982	78,753	79,718		事業タイプ	単独事業
	決算額	77,810	77,660	72,982	78,091			経費区分	補助費等

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R5年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
1	2	1	14	202	融和と協働のまちづくり事業費	99,487	79,718
2							
3							
4							
5以降							
						合計	79,718

No	R5年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	0.1
	会計年度職員	
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。
(1はい・0いいえ) はい いいえ

行政が実施すべき事業か。
(1はい・0いいえ) はい いいえ

住民等のニーズは増えているか。
(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)
 増加する見込み 横ばい 減少する見込み

国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。
(1ない・0ある) ない ある

事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。
(1ない・0ある) ない ある

合計点数	点数区分	次年度方向性の目安	判定
9	0点~8点	事務改善または廃止・休止	維持または事務改善
	9点~16点	維持または事務改善	

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)
 節減できている 横ばい 増加している

デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。
(2向上している・1横ばい・0低下している)
 向上している 横ばい 低下している

業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。
(2向上している・1横ばい・0低下している)
 向上している 横ばい 低下している

市民団体や事業者による業務委託しているか。
(1いる・0いない) いる いない

財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。
(1いる・0いない) いる いない

成果は目標を達成できているか。
(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)
 目標を達成できている 進展している 目標に向かっていない

ACTION

今年度 R5方向性⇒

取組内容 地域活性化に資する事業に対し交付金を交付し、個性的な地域づくりや地域の活性化を推進する。また、民営化型となった「花によるまちづくりコンクール」等を通じ、より市民参加を促すよう積極的に支援する。令和5年3月6日の三者協定を受け、結ネットの推進に向けて取り組んでいく。

来年度の実績 R4年度 区長会連合会の意向も踏まえ、イベント開催に特化したような交付金(R4年度からふるさとふれあい交付金)は廃止とした。代替の交付金として十区色づくり交付金を交付し、地区・町内におけるコロナ対策等にも活用できるよう見直しを行った。各地区、各町内でコロナ禍でも行えるウォーキングのイベントなどを行い地域の活性化を図った。

R4年度実績とR5年度の経過を踏まえた課題 R4年度はコロナ禍により大規模イベントの開催はできなかったが、R5年度は新型コロナウイルスが5類へ引き下げられたことをうけ各種イベントが各地区で開催されている。人が集まるイベントを積極的にを行い、希薄化していた地域のつながりを取り戻していく必要がある。

実績と課題を踏まえたR6年度の変更点 ウイズ・コロナ、アフター・コロナ時代に対応できるまちづくりを支援するために十区色づくり交付金を活用してもらう。

R6方向性⇒

CHECK(次年度方向性の目安)とR6年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民役事業実施】

年度	2020	2021	2022	2023	2024
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R5年度事業名

R6年度事業名

取組可能な事業の詳細⇒

R5年度 事業名	鯖江市日中友好協会事業補助金
R4年度 事業名	鯖江市日中友好協会事業補助金

総合戦略 体系	531	世界のめがねの聖地SABAEの確立 に向けた組織強化	人権尊重と地域連携の推進	共生社会の推進
------------	-----	-------------------------------	--------------	---------

PLAN (計画)	部署名	市民活躍課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	市民団体による国際交流事業を支援することで、市民が企画し実施する国際交流事業を推進し、多様な文化に対する理解と個性や独創性を育むとともに、国際性豊かな人材の育成を図る。				
	概要	鯖江市日本中国友好協会の自主的な交流活動に対して補助する。				
	法令等 根拠		実施 形態	内容		
現在	補助金等交付		申請者(鯖江市日中友好協会)からの申請に基づき、補助金を交付する。			

DO (実施)	活動指標							
	指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	※設定困難		目標値					
			実績値					
	成果指標							
	指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	協会が実施する交流事業の数(日中友好訪中団、在住外国人との交流事業等)	事業	目標値	2	2	2	2	2
			実績値	1	2	1		
	計算 根拠		達成率	50	100	50		
			実数値					
		ランク	C	A	C			
前年度 ランク B、Cの 理由	コロナ禍のため、訪中団や交流事業が中止となったため。							

【単位:千円】

事業費	区分	2019	2020	2021	2022	2023	タイプ	会計	一般会計
	予算額	270	600	270	270	270		事業タイ	単独事業
	決算額	270	270	270	270	270		経費区分	補助費等

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R5年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	2	1	16	601	国際交流事業補助金	3,120	270	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	270

No	R5年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	0.1
	会計年度職員	
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ) はい いいえ

行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ) はい いいえ

住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)
 増加する見込み 横ばい 減少する見込み

国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある) ない ある

事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある) ない ある

合計点数	点数区分	次年度方向性の目安	判定
9	0点~8点	事務改善または廃止・休止	維持または事務改善
	9点~16点	維持または事務改善	

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している) 節減できている 横ばい 増加している

デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)
 向上している 横ばい 低下している

業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)
 向上している 横ばい 低下している

市民団体や事業者に業務委託しているか。(1いる・0いない) いる いない

財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない) いる いない

成果は目標を達成できているか。(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)
 目標を達成できている 進展している 目標に向かっていない

ACTION

今年度 R5方向性⇒ 維持

取組内容 協会関係者との対話・連携を深めるとともに、団体の自発性を活かしながら支援を継続する。45周年記念事業の企画作成と併せて、実施できるような節目の取組の計画を進めていく。

来年度へ向けて R4年度の実績 協会関係者との対話・連携を深めるとともに、コロナ禍の状況を踏まえ、団体の自発性を活かしながら支援を継続した。春節に合わせた在住中国人に対する生活支援事業を行った。

R4年度実績とR5年度の経過を踏まえた課題
 訪中団事業はコロナ禍で見逃せないこともあり中断している。R5年度は広州でアジア大会があり、福井県日中友好協として招待枠がある場合には、活用を含め、協会のアピールも兼ねた取組をしていく必要がある。

実績と課題を踏まえたR6年度の変更点
 コロナ禍の長期化を受けて、それまで続いていた訪中団が止まってしまったため、現地の方との交流も途絶えている。訪中団・現地との交流再開や、福井県日中友好協との連携した動き、45周年記念事業に向けた取組を行う。在住中国人に対する生活支援活動にも引き続き交流を図る。

R6方向性⇒ 事務改善(手段・サービス水準の見直し)

CHECK(次年度方向性の目安)とR6年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民役事業実施】

年度	2020	2021	2022	2023	2024
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R5年度事業名

市民役事業にかかる額(単位千円): 0

R6年度事業名

市民役事業にかかる額(単位千円): 0

取組可能な事業の詳細⇒

R5年度 事業名	安全で安心なコミュニティづくり補助事業(防犯灯設置補助)
R4年度 事業名	安全で安心なコミュニティづくり補助事業(防犯灯設置補助)

総合戦略 体系	431	安心で快適に暮らせるまちの創造	強靱で安全・安心なまち	防災・防犯対策の推進
------------	-----	-----------------	-------------	------------

PLAN (計画)	部署名	市民活躍課	開始年度	2005	終了年度	9999
	目的	防犯灯の整備を図り、当該地域内での防犯面の安全性を高めるとともに、明るく住みよいまちづくりを進める。				
	概要	町内会や地区区長会が実施する防犯灯整備事業に対して、新設一灯につき要した費用の2/3以内で15,000円限度、取替一灯につき要した費用の1/2以内で10,000円限度、ポール設置一本につき要した費用の1/2以内で40,000円限度にて助成する。				
	法令等 根拠		実施 形態	内容		
現在	補助金等交付		申請者(街灯の設置者)からの申請に基づき、補助金を交付する。			

DO (実施)	活動指標								
		指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	※設定困難			目標値					
				実績値					
	成果指標								
		指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	防犯灯設置実施率		%	目標値	100	100	100	100	100
				実績値	100	100	100		
	計算 根拠	設置数/設置申請数×100		達成率	100	100	100		
				実数値	42/42	57/57	51/51		
			ランク	A	A	A			
前年度 ランク B、Cの 理由									

【単位:千円】

事業費	区分	2019	2020	2021	2022	2023	タイプ	会計	一般会計
	予算額	1,200	1,200	1,200	1,300	1,000		事業タイ	その他
	決算額	1,016	631	1,036	978			経費区分	補助費等

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R5年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	2	1	14	202	融和と協働のまちづくり事業費	99,487	1,000	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	1,000

No	R5年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	0.2
	会計年度職員	
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ)	<input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ)	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	<input checked="" type="radio"/> 増加する見込み <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
合計点数	12
点数区分	0点~8点
次年度方向性の目安	事務改善または廃止・休止
判定	維持または事務改善

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	<input type="radio"/> 節減できている <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input checked="" type="radio"/> 向上している <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input checked="" type="radio"/> 向上している <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
市民団体や事業者に業務委託しているか。(1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
成果は目標を達成できているか。(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	<input checked="" type="radio"/> 目標を達成できている <input type="radio"/> 進展している <input type="radio"/> 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R5方向性⇒	維持
取組内容	LED化する防犯灯の管理を区長会と連携しながら協働管理していく。また、リース期間が終了する防犯灯の令和7年度からの新スキームについて、情報収集等を始めるなど検討していく。	
来年度へ向けて	R4年度の実績	設置申請のあった防犯灯について100%設置できている。
	R4年度実績とR5年度の経過を踏まえた課題	今後も「安全で安心なまちづくり」を目指し、LED化する防犯灯の設置を進めていく。
	実績と課題を踏まえたR6年度の変更点	令和6年度末のLED防犯灯リース期間終了を見越し、情報収集を行い、区長会連合会とも全体の方針決定に向け、検討を始める。防犯灯設置補助について、市民の防犯意識が高まっており、毎年50灯ほどの申請があるため事業を継続することが望ましい。防犯カメラの補助金については、昨年の要望調査結果を受け要望のあった町内へ交付を行う。
	R6方向性⇒	維持
	CHECK(次年度方向性の目安)とR6年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民主役事業実施】

年度	2020	2021	2022	2023	2024
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R5年度事業名	
	市民主役事業にかかる額(単位千円):
R6年度事業名	
	市民主役事業にかかる額(単位千円): 0

取組可能な事業の詳細⇒

R5年度 事業名	安全で安心なコミュニティづくり補助事業(住民参加で雪に強く快適なまちづくり事業)
R4年度 事業名	安全で安心なコミュニティづくり補助事業(住民参加で雪に強く快適なまちづくり事業)

総合戦略 体系	431	安心で快適に暮らせるまちの創造	強靱で安全・安心なまち	防災・防犯対策の推進
------------	-----	-----------------	-------------	------------

PLAN (計画)	部署名	市民活躍課	開始年度	2006	終了年度	9999
	目的	住民と行政が協働の中で除排雪を行うことにより、地域住民のコミュニティの促進と「雪に強く快適なまちづくり」の推進を図る。				
	概要	①除排雪市民協働補助金(@30円×市道延長(m)×実施回数) ただし、除排雪作業を行う町内会のうち、市が行う除雪路線を1,500メートル以上代替した町内会において、排雪作業を実施した場合は@45円×市道延長(m)×実施回数とする。 ②雪置き場支援補助金(固定資産税・都市計画税×2/12)				
法令等 根拠		実施 形態	内容	申請者(町内会)からの申請に基づき、補助金を交付する事務である。		
現在	補助金等交付					

DO (実施)	活動指標								
		指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	※設定困難			目標値					
				実績値					
	成果指標								
		指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	除雪路線に対する補助対応率		%	目標値	100	100	100	100	100
				実績値	100	100	100		
	計算 根拠			達成率	100	100	100		
				実数値	21/21	25/25	31/31		
			ランク	A	A	A			
前年度 ランク B、Cの 理由									

【単位:千円】

事業費	区分	2019	2020	2021	2022	2023	タイプ	会計	一般会計
	予算額	1,400	1,400	2,920	3,331	2,921		事業タイプ	単独事業
	決算額	0	1,657	2,920	3,331			経費区分	補助費等

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R5年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	8	2	2	203	道路除雪費	327,297	2,921	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	2,921

No	R5年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	0.1
	会計年度職員	
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。
(1はい・0いいえ) はい いいえ

行政が実施すべき事業か。
(1はい・0いいえ) はい いいえ

住民等のニーズは増えているか。
(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)
 増加する見込み 横ばい 減少する見込み

国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。
(1ない・0ある) ない ある

事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。
(1ない・0ある) ない ある

合計点数	点数区分	次年度方向性の目安	判定
10	0点~8点	事務改善または 廃止・休止	維持または事務改善
	9点~16点	維持または 事務改善	

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)
 節減できている 横ばい 増加している

デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。
(2向上している・1横ばい・0低下している)
 向上している 横ばい 低下している

業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。
(2向上している・1横ばい・0低下している)
 向上している 横ばい 低下している

市民団体や事業者に業務委託しているか。
(1いる・0いない) いる いない

財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。
(1いる・0いない) いる いない

成果は目標を達成できているか。
(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)
 目標を達成できている 進展している 目標に向かっていない

ACTION

今年度 R5方向性⇒

取組内容 各町内区長からの継続要望も強くあり、継続して支援していく。

来年度の実績 R4年度は比較的降雪量も多く、補助金を活用し除雪を行った町内が多かった。

R4年度実績とR5年度の経過を踏まえた課題
R4年度も降雪が多く決算額が例年になく膨らんだが、R4年度から予算を土木課へ移管したことにより目標を達成することができた。事務についてはR6年度から土木課へ移管する予定。

実績と課題を踏まえたR6年度の変更点
補助制度としては継続するものの、事務執行と予算管理で所管課が分かれているため、令和6年度に事務を土木課へ移管する予定。

R6方向性⇒

CHECK(次年度方向性の目安)とR6年度方向性が異なる場合には、その理由
事務執行を土木課へ移管する予定のため。

【提案型市民役事業実施】

年度	2020	2021	2022	2023	2024
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R5年度事業名	
市民役事業にかかる額(単位千円):	0
R6年度事業名	
市民役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R5年度 事業名	若者による地域活性化推進事業
R4年度 事業名	若者による地域活性化推進事業

総合戦略 体系	211	若者が住みたくなるまちの創造	若者の夢を応援するまち ~よそ者に寛大で多 様性があるまち~	学生連携事業
------------	-----	----------------	-----------------------------------	--------

P L A N (計 画)	部署名	市民活躍課	開始年度	2009	終了年度	9999
	目的	・地域の将来を担う若者たちが連携し、地域において自主的に活動する。 ・市内外の若者のアイデアと行動力を活かしたまちづくりを推進し、地域の活性化を図る。				
	概要	市内外の若者のアイデアと行動力を活かしたまちづくりを推進するため、地域の将来を担う若者たちが連携して鯖江の未来像を提案する場を設け、実現に向けて活動できる事業を実施する。				
	法令等 根拠	なし	実施 形態	内容		
現在	民間等委託(全部)		地元大学生および過去の地域活性化プランコンテストの参加者が中心となって、地元住民や関係機関・団体と協働して実施する。			

D O (実 施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	活動日数			目標値		50	50	50	50
				実績値		50	55		
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	プレゼンテーション参加学生数		人	目標値	18	30	30	30	30
				実績値	18	28	29		
	計算 根拠			達成率	100	93.3	96.7		
				実数値					
		ランク	A	B	A				
前年度 ランク B、Cの 理由									

【単位:千円】

事業費	区分	2019	2020	2021	2022	2023	タイプ	会計	一般会計
	予算額	1,350	480	600	1,000	1,000		事業タイ	単独事業
	決算額	1,222	480	600	1,000			経費区分	物件費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R5年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	2	1	14	214	学生連携事業費	5,061	1,000	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	1,000

No	R5年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	0.1
	会計年度職員	
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ)	<input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ)	<input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	<input checked="" type="radio"/> 増加する見込み <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある)	<input type="radio"/> ない <input checked="" type="radio"/> ある
合計点数	12
点数区分	0点~8点 9点~16点
次年度方向性の目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	<input checked="" type="radio"/> 節減できている <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	<input checked="" type="radio"/> 向上している <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	<input checked="" type="radio"/> 向上している <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない)	<input checked="" type="radio"/> いる <input type="radio"/> いない
財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	<input checked="" type="radio"/> 目標を達成できている <input type="radio"/> 進展している <input type="radio"/> 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R5方向性⇒	事務改善(業務プロセスの改善)
取組内容	「鎮江市地域活性化プランコンテスト」と称して実施する当該事業は、令和3年度より「大学生版」「高校生版」の2つの事業に分け、参加学生の満足度も高かったことから、令和5年度も「大学生版」「高校生版」を実施する。	
来年度へ向けて	R4年度の実績	新型コロナウイルス感染症への対策を協議しながら、「高校生版(8月)」「大学生版(9月)」の2つの企画をオンラインではなく市内で実施した。「高校生版」では、14名から3提案、「大学生版」では15名から5提案を受け、今後の政策に反映させていく。 また、令和3年度の提案プランのうち「めがね婚プロジェクト(大学生版)」「交流寺プロジェクト(高校生版)」は、令和4年度提案型市民主役事業として官民連携し具現化に向けて取り組んだ。
	R4年度実績とR5年度の経過を踏まえた課題	課題として、地元高校生による「高校生版」の内容充実が挙げられる。市近隣の高等学校においては、探究活動に代表される「地域との協働により、地域への愛着と貢献意識をもち自ら考え行動する学習」が各校において展開されており、各校から意欲ある高校生が当該事業へ参加して「チャレンジできるまちさばえ」を実際に体験してもらうことが事業効果を高めていくために必要と考える。
	実績と課題を踏まえたR6年度の変更点	高校生版の内容充実と参加者拡大。
	R6方向性⇒	事務改善(市民等との協働を導入・拡大)
	CHECK(次年度方向性の目安)とR6年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民主役事業実施】

年度	2020	2021	2022	2023	2024
取組選択	可能	可能	可能	可能	可能
実施状況	実施	実施	実施	実施	未実施

R5年度事業名	若者による地域活性化推進事業
	市民主役事業にかかる額(単位千円): 1,000
R6年度事業名	若者による地域活性化推進事業
	市民主役事業にかかる額(単位千円): 1,000

取組可能な事業の詳細⇒

R5年度 事業名	ふるさと鯖江の日記念事業
R4年度 事業名	ふるさと鯖江の日記念事業

総合戦略 体系	244	若者が住みたくなるまちの創造	ものづくり教育とふるさと学習の推進	市民との協働事業の推進
------------	-----	----------------	-------------------	-------------

PLAN (計画)	部署名	市民活躍課	開始年度	2009	終了年度	9999
	目的	先人が築いた歴史、伝統、文化、産業、そして豊かな自然とすばらしい環境など、これらすべての財産を市民のかけがえのない「宝」として永遠に守り育て次世代に引き継ぎ、愛着を深めていくために、鯖江市が誕生した日である1月15日を「ふるさと鯖江の日」と定め記念事業を開催する。				
	概要	各課が実施する記念式典、記念イベントの開催を通じ、先人の功績やふるさとの「宝」に触れる機会を提供し、これらを活用した市民の自発的なふるさとづくり運動を推進することをコーディネート(全体)する。				
	法令等 根拠 現在	市直営	実施 形態	内容 記念式典・表彰部門(行政管理課、教育政策課、文化課担当)と、アトラクションの2つの部門に別れており、記念コンサートを市民活躍課が担当		

DO (実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	※設定困難			目標値					
				実績値					
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	ふるさと鯖江の日」記念事業参加者数		人	目標値	600	-	460	500	600
				実績値	500	-	900		
	計算 根拠	事業への自発的な参加者数を増やすことで、事業への市民理解が高まる。		達成率	83.3		195.6		
				実数値					
			ランク	B	-	A			
前年度 ランク B、Cの 理由									

【単位:千円】

事業費	区分	2019	2020	2021	2022	2023	タイプ	会計	一般会計
	予算額	0	0	420	500	500		事業タイプ	単独事業
	決算額	0	0	50	467			経費区分	物件費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R5年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	2	1	1	210	ふるさと鯖江の日記念事業費	500	500	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	500

No	R5年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	0.1
	会計年度職員	
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。
(1はい・0いいえ) はい いいえ

行政が実施すべき事業か。
(1はい・0いいえ) はい いいえ

住民等のニーズは増えているか。
(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)
 増加する見込み 横ばい 減少する見込み

国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。
(1ない・0ある) ない ある

事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。
(1ない・0ある) ない ある

合計点数	点数区分	次年度方向性の目安	判定
10	0点~8点	事務改善または 廃止・休止	維持または事務改善
	9点~16点	維持または 事務改善	

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)
 節減できている 横ばい 増加している

デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。
(2向上している・1横ばい・0低下している)
 向上している 横ばい 低下している

業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。
(2向上している・1横ばい・0低下している)
 向上している 横ばい 低下している

市民団体や事業者に業務委託しているか。
(1いる・0いない) いる いない

財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。
(1いる・0いない) いる いない

成果は目標を達成できているか。
(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)
 目標を達成できている 進展している 目標に向かっていない

ACTION

今年度 R5方向性⇒

取組内容
ふるさと鯖江の日記念事業を各課が連携し開催する。
・表彰部門(行政管理課)
・記念コンサート(市民活躍課)

来年度へ向けて
R4年度の実績
2月4日に陸上自衛隊第10音楽隊を招いてコンサートを行った。オープニングアクトとして市内の高校、中学校の吹奏楽部員にアンサンブルの演奏を行ってもらった。

R4年度実績とR5年度の経過を踏まえた課題
3年ぶりの自衛隊コンサートの開催で文化センターの大ホールがほとんど満席になるほどの大盛況であった。

実績と課題を踏まえたR6年度の変更点
鯖江市には自衛隊の鯖江駐屯地があり、協力体制の維持強化の観点からも事業継続が望ましい。さらに、自衛隊コンサートは市民に根強い人気があり、「吹奏楽のまち鯖江」のシンボリックなイベントとなっているが、毎年行うのではなく、5年に1回や市政70周年などで区切って有名な演奏家や地元学生とコラボした事業を行うことが望ましい。

R6方向性⇒

CHECK(次年度方向性の目安)とR6年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民役事業実施】

年度	2020	2021	2022	2023	2024
取組選択	可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R5年度事業名

市民役事業にかかる額(単位千円):

R6年度事業名

市民役事業にかかる額(単位千円):

取組可能な事業の詳細⇒

R5年度 事業名	サバヲシ総会事業
R4年度 事業名	サバヲシ総会事業

総合戦略 体系	251	若者が住みたくなるまちの創造	参加と協働による市民主役	市民主役事業の推進
------------	-----	----------------	--------------	-----------

PLAN (計画)	部署名	市民活躍課	開始年度	2010	終了年度	2023
	目的	市民主役条例推進委員会からの第三次市民提案(平成28年7月26日付け)に基づき、より幅広い層の市民が「自分も市民の一員(主役)だ」と思ってもらえるような集会「サバヲシ総会」を実施することで、市民主役のまちづくりにおける市民の理解浸透と底辺拡大を目指す。				
	概要	これまで個別に実施してきた「市民主役フォーラム」「さばえ未来会議」を統合し、「市民主役のまちづくり」の事業や成果を市民がストレートに実感でき、市民自身でも評価するような事業に組み替える。市民主役事業に関する経過報告、テーマ別ワークショップ、市民主役のまちづくりに関する総合的啓発・交流イベントを実施する。				
	法令等 根拠		実施 形態	内容	提案型市民主役事業により、認定NPO法人さばえNPOサポートに委託し、民間団体とも協力して開催する。	
現在	民間等委託(全部)					

DO (実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	サバヲシ総会(市民主役フォーラムおよびさばえ未来会議含む)開催回数		回	目標値	1	1	1	1	1
				実績値	1	1	2		
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	参加者数		人	目標値	250	250	250	200	150
				実績値	100	47	101		
	計算 根拠 H24～H28:市民主役フォーラム、H29:サバヲシ総会(市民主役フォーラム およびさばえ未来会議含む)		達成率	40.0	18.8	40.4			
			実数値						
			ランク	C	C	C			
前年度 ランク B、Cの 理由	10月から1月末にかけて、新型コロナウイルスの第八波の感染拡大期にあり、大規模な集客を伴うイベントが開催が難しい状況であったため								

【単位:千円】

事業費	区分	2019	2020	2021	2022	2023	タイプ	会計	一般会計
	予算額	400	410	250	250	250		事業タイプ	単独事業
	決算額	168	400	250	250	250		経費区分	物件費

No	款	項	目	事業	R5年度事業名			
					予算書額	うち事業額(千円)		
1	2	1	14	211	民間活力推進事務諸経費	2,931	250	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	250

No	R5年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	0.1
	会計年度職員	
	※所要時間	0

DO(実施)

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ) はい いいえ

行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ) はい いいえ

住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み) 増加する見込み 横ばい 減少する見込み

国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある) ない ある

事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある) ない ある

合計点数	点数区分	次年度方向性の目安	判定
11	0点~8点	事務改善または廃止・休止	維持または事務改善
	9点~16点	維持または事務改善	

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している) 節減できている 横ばい 増加している

デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している) 向上している 横ばい 低下している

業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している) 向上している 横ばい 低下している

市民団体や事業者に業務委託しているか。(1いる・0いない) いる いない

財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない) いる いない

成果は目標を達成できているか。(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない) 目標を達成できている 進展している 目標に向かっていない

ACTION

今年度 R5方向性⇒ 維持

取組内容 引き続き、より幅広い層の市民が「自分も市民の一員(主役)だ」と思ってもらえるような集会「サバヌン総会」を実施し、底辺拡大を図る。

来年度の実績 基調講演・パネルディスカッション、サバヌン未来会議を行った。

R4年度実績とR5年度の経過を踏まえた課題
R4年度は、市民主役所構想を鯖江市で提案するため、それに必要な要件・要素を抽出することを目的に開催した。令和5年度は、やりたいことを後押しできる市民主役所の実現に向けた検討を行う場として行いたい。

実績と課題を踏まえたR6年度の変更点
フェスやエキスポといった大型事業との連動性も加味して、イベントの中での参加しやすいワークショップや総会を行い、まちづくりに興味のない方でも聞きたくなるパネルディスカッションを行って参加者を増やしていきたい。なお、市民主役フェス事業(3765)と統合する。

R6方向性⇒ 事務改善(他事業との連携・統合)

CHECK(次年度方向性の目安)とR6年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2020	2021	2022	2023	2024
取組選択	可能	可能	可能	可能	可能
実施状況	実施	実施	実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

R5年度事業名	サバヌン総会事業(民営化型含む)	市民主役事業にかかる額(単位千円):	250
R6年度事業名	サバヌン総会事業(民営化型含む)	市民主役事業にかかる額(単位千円):	250

R5年度 事業名	市民まちづくり応援団養成講座
R4年度 事業名	市民まちづくり応援団養成講座

総合戦略 体系	251	若者が住みたくなるまちの創造	参加と協働による市民主役	市民主役事業の推進
------------	-----	----------------	--------------	-----------

PLAN (計画)	部署名	市民活躍課	開始年度	2012	終了年度	9999
	目的	地区におけるまちづくりに意欲のある人のうち、人材の掘り起こしや、持続可能な地域運営の基盤づくり、人と人をつなげるコーディネートに興味のある人材を発掘し、人材育成を図る。				
	概要	市民主役条例推進委員会地域自治部会が中心となり、地区のまちづくりに関して、人材育成や組織運営、人の和づくりなどに関する内容の講座「市民まちづくり応援団養成講座(全市版・地区版)」をワークショップ形式で開催する。発掘した人材を「市民まちづくり応援団コーディネーター」としてグループ化し「応援団」を結成。人材登録をし、地区独自のまちづくりに活用していただく。				
	法令等 根拠		実施 形態	内容		
現在	民間等委託(全部)		市民主役条例推進委員会地域自治部会、区長会連合会等との協働により実施する。			

DO (実施)	活動指標							
	指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	市民まちづくり応援団養成講座の講座開催回数	回	目標値	4	4	4	4	4
			実績値	4	4	4		
	成果指標							
	指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	講座参加者数	人	目標値	50	50	75	75	75
			実績値	130	114	162		
	計算 根拠	養成講座の修了生を「公式サポーター」として人材登録し、地区のまちづくりに活用していただくことで、地域コミュニティの活性化が図られる。	達成率	260	228	216		
			実数値					
		ランク	A	A	A			
前年度 ランク B、Cの 理由								

【単位:千円】

事業費	区分	2019	2020	2021	2022	2023	タイプ	会計	一般会計
	予算額	200	204	190	192	192		事業タイ	補助(県)事業
	決算額	67	204	190	190			経費区分	物件費

歳出予算	No	款	項	目	事業	R5年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	2	1	14	211	民間活力推進事務諸経費	2,931	192
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	192

補助金等	No	R5年度補助金等名称	金額(千円)
	1	集落活性化支援事業補助金	95
	2		
	3		
	4		
	5以降		
		合計	95

事業要員	正規職員	0.4
	会計年度職員	
	※所要時間	0

DO(実施)

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ)	<input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ)	<input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	<input checked="" type="radio"/> 増加する見込み <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
合計点数	13
点数区分	0点~8点 9点~16点
次年度方向性の目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

効率性	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	<input checked="" type="radio"/> 節減できている <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input checked="" type="radio"/> 向上している <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
	市民団体や事業者に業務委託しているか。(1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
有効性	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
	成果は目標を達成できているか。(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	<input checked="" type="radio"/> 目標を達成できている <input type="radio"/> 進展している <input type="radio"/> 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R5方向性⇒	維持
取組内容	各地区のまちづくり応援団養成講座受講者を対象とした全市版養成講座を行い、各地区での課題や現状などの情報共有を図る。「融和と協働のまちづくり交付金」に統合した「市民まちづくり応援団活動支援事業」については、全地区の応援団への支援策として、地区住民の自主性を引き出しながら引き続き実施する。	
来年度へ向けて	R4年度の実績	市内10地区において市民まちづくり応援団養成講座修生の活動を、情報交換会や研修の実施を通じ支援した。
	R4年度実績とR5年度の経過を踏まえた課題	市民主役条例推進委員会に市民主役事業として委託しており、委員会の発想により既定の事業を実施している。
	実績と課題を踏まえたR6年度の変更点	特になし
	R6方向性⇒	維持
	CHECK(次年度方向性の目安)とR6年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民主役事業実施】

年度	2020	2021	2022	2023	2024
取組選択	可能	可能	可能	可能	可能
実施状況	実施	実施	実施	未実施	未実施

R5年度事業名	市民まちづくり応援団養成講座
	市民主役事業にかかる額(単位千円): 190

R6年度事業名	市民まちづくり応援団養成講座
	市民主役事業にかかる額(単位千円): 190

取組可能な事業の詳細⇒

R5年度 事業名	市民主役支援利子補給制度
R4年度 事業名	市民主役支援利子補給制度

総合戦略 体系	251	若者が住みたくなるまちの創造	参加と協働による市民主役	市民主役事業の推進
------------	-----	----------------	--------------	-----------

PLAN (計画)	部署名	市民活躍課	開始年度	2012	終了年度	9999
	目的	市内の市民団体等が国・県・公益団体等の委託や助成を受けやすくし、公益的事業に積極的に取り組んでもらうことを通じ、「市民主役」の担い手づくりを推進する。				
	概要	市民団体等が国や県・公益団体等から委託や助成等を受けて公益的な事業を行うにあたり、委託金や助成金が交付されるまでの間、つなぎ融資を利用する場合に、当該融資に係る利子に相当する額を交付することで、市民団体等が交付金事業に応募しやすくすることを目指す。＊利率4%相当額を上限とする。				
法令等 根拠		実施 形態	内容	つなぎ融資を受けた団体に当該融資に係る利子に相当する額を補助金として交付する。		
現在	補助金等交付					

DO (実施)	活動指標							
	指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	市内のNPO法人等へのPRちらしの送付回数	回	目標値	1	1	1	1	
			実績値	1	0	0		
	成果指標							
	指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	該当する団体への補助金交付率	%	目標値	100	100	100	100	
			実績値	0	0	0		
	計算 根拠	利子補給を行った団体数÷つなぎ融資を受けた団体数	達成率	0	0	0		
			実数値	0	0	0		
		ランク	C	C	C			
前年度 ランク B、Cの 理由	国や県から助成を受ける団体の有無が事業の成果指標と直結しており、2022年度は制度の利用申請団体がなかったため。							

【単位:千円】

事業費	区分	2019	2020	2021	2022	2023	タイプ	会計	一般会計
	予算額	180	180	105	105	0		事業タイプ	単独事業
	決算額	29	0	0	0			経費区分	補助費等

No	款	項	目	事業	R5年度事業名			
					予算書額	うち事業額(千円)		
1	2	1	14	601	市民協働まちづくり基金事業費	4,000	0	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	0

No	R5年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	0.05
	会計年度職員	
	※所要時間	0

DO(実施)

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。
(1はい・0いいえ) はい いいえ

行政が実施すべき事業か。
(1はい・0いいえ) はい いいえ

住民等のニーズは増えているか。
(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)
 増加する見込み 横ばい 減少する見込み

国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。
(1ない・0ある) ない ある

事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。
(1ない・0ある) ない ある

合計点数	点数区分	次年度方向性の目安	判定
6	0点~8点	事務改善または 廃止・休止	事務改善または 廃止・休止
	9点~16点	維持または 事務改善	

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)
 節減できている 横ばい 増加している

デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。
(2向上している・1横ばい・0低下している)
 向上している 横ばい 低下している

業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。
(2向上している・1横ばい・0低下している)
 向上している 横ばい 低下している

市民団体や事業者に業務委託しているか。
(1いる・0いない) いる いない

財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。
(1いる・0いない) いる いない

成果は目標を達成できているか。
(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)
 目標を達成できている 進展している 目標に向かっていない

ACTION

今年度 R5方向性⇒

取組内容 直近3年間の事業実績が無く、支援制度見直しのために事業を休止。

来年度の実績 令和4年度は、制度の利用申請団体なし。

R4年度実績とR5年度の経過を踏まえた課題
国や県から助成を受ける団体の有無が事業の成果と直結している。一方で、市民団体内にもそうした一時的な助成に依存しない事業を展開すべきという考えや必要に応じてクラウドファンディングといった新たな財源確保の手段も一般化してきており、市の支援制度も見直しが必要と考える。

実績と課題を踏まえたR6年度の変更点
休止が妥当。

R6方向性⇒

CHECK(次年度方向性の目安)とR6年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民役事業実施】					
年度	2020	2021	2022	2023	2024
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R5年度事業名	<input type="text" value="市民主役事業にかかる額(単位千円):"/>	<input type="text" value="0"/>
R6年度事業名	<input type="text" value="市民主役事業にかかる額(単位千円):"/>	<input type="text" value="0"/>

取組可能な事業の詳細⇒

R5年度 事業名	めがねのまちさばえ探究活動事業
R4年度 事業名	めがねのまちさばえ探究活動事業

総合戦略 体系	211	若者が住みたくなるまちの創造	若者の夢を応援するまち ~よそ者に寛大で多 様性があるまち~	学生連携事業
------------	-----	----------------	-----------------------------------	--------

PLAN (計画)	部署名	市民活躍課	開始年度	2012	終了年度	9999
	目的	将来の鯖江市を担う地元の高校生や大学生が、住むだけのまちから何かをしたいと思えるまちへと意識の変化が芽生えることを目指すとともに、連携協定を結んでいる大学の学生等と連携して、鯖江市の認知度向上を図る。				
	概要	令和元年6月、鯖江商工会議所とともに相互連携協定を結んだ福井県立鯖江高等学校の取組みである「地域との協働による高等学校教育改革推進事業」に基づき、授業への講師の派遣、紹介等の協力を行う。 また、連携協定を結んでいる大学の学生の受け入れや大学が開催しているホームカミングデー等の催事において、学生と一緒に本市の紹介および地場産業・地場産品のPR等を行う。				
	法令等 根拠		実施 形態	内容		
	現在	市直営				

DO (実施)	活動指標									
		指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024	
		連携大学でのホームカミング等で、学生と協力して行う「めがねのまちさばえ」のPR活動	回	目標値	1	1	1	1	1	
				実績値	1	1	1			
		鯖江高等学校との連携協定にかかる成果報告会開催	回	目標値	3	3	2	2	2	
				実績値	2	2	2			
		成果指標								
			指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
		鯖江高等学校の地域連携プログラムに対するサポート件数	件	目標値	4	6	10	10	10	
				実績値	3	14	13			
		計算 根拠	探究科研究テーマ数	達成率	75	233.3	130			
				実数値						
		明治大学ホームカミング等への来場者数	人	目標値	4,000	4,000	4,000	3,000	3,500	
				実績値	-	6,106	3,000			
		計算 根拠	明治大学ホームカミングデー参加者数(鯖江市ブースのみの人数の掌握はできない)	達成率		152.7	75.0			
	実数値									
			ランク	C	A	C				
	前年度 ランク B、Cの 理由	コロナ禍のため過去2年間はオンライン開催となっていました。2022年度は3年ぶりに駿河台キャンパスにて対面形式で開催。コロナ前への移行措置として、キャンパスへの入構は、特別招待校友とその家族のみとしたため、約3,000人が来場。								

【単位:千円】

事業費	区分	2019	2020	2021	2022	2023	タイプ	会計	一般会計
	予算額	123	301	40	1,500	1,538		事業タイプ	単独事業
	決算額	110	0	28	1,399			経費区分	物件費

No	款	項	目	事業	R5年度事業名			
					予算書額	うち事業額(千円)		
1	2	1	14	214	学生連携事業費	5,061	1,538	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	1,538

No	R5年度補助金等名称	金額(千円)
1	デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進1/2)	769
2		
3		
4		
5以降		
合計		769

事業要員	正規職員	0.1
	会計年度職員	
	※所要時間	0

DO(実施)

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ)	<input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ)	<input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	<input checked="" type="radio"/> 増加する見込み <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
合計点数	10
点数区分	0点~8点 9点~16点
次年度方向性の目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2削減できている・1横ばい・0増加している)	<input type="radio"/> 削減できている <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input checked="" type="radio"/> 向上している <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input checked="" type="radio"/> 向上している <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
市民団体や事業者に業務委託しているか。(1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
成果は目標を達成できているか。(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	<input type="radio"/> 目標を達成できている <input checked="" type="radio"/> 進展している <input type="radio"/> 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R5方向性⇒ 事務改善(手段・サービス水準の見直し)
取組内容	<p>鯖江高等学校とは、連携協定に基づいて文科省の支援が終了した「地域との協働による高等学校教育改革推進事業」への継続的なサポートを行い、地域の関心を高めながら、探究活動の継続と発表の場の創出する事業を盛り込んだ。</p> <p>明治大学とはコロナ禍を契機に、今まで活かせていなかった3人の大学創業者出身地間での新たな連携に着手する。また、連携協定を結んだ効果や事業成果が市民に認知されておらず、市民の関わる余地が少なかった点を改善するため、公開講座を実施する。</p>
来年度へ向けて	<p>R4年度の実績 鯖江高等学校との連携事業については、文部科学省所管事業が令和3年度で終了したことを契機に、より地域に根差した連携事業を実施し事業効果を高めることができた。市と鯖江高等学校の双方が提供できる価値を再考し、探究科・普通科・その他の分野で11活動で協働した。</p> <p>明治大学との連携事業については、ホームカミングデーに鯖江高校生徒と参加し、鯖江の物品を特設サイトにて紹介した。また、明治大学と連携協定を締結した効果を市民に還元する公開講座を初めて3回開催した。</p> <p>R4年度実績とR5年度の経過を踏まえた課題</p> <p>鯖江高等学校との連携事業については、生徒の活動支援や学校自体の魅力向上のために、進路指導部や広報部および部活動との連携を増やしていくほか、市の各部署とのマッチングもこれまで以上に進めて行く必要がある。</p> <p>明治大学との連携事業については、公開講座の実施を中心に市民への事業効果還元を継続するほか、個別に動いていた鯖江高等学校・明治大学との連携をより強固なものにできるかが課題である。</p> <p>実績と課題を踏まえたR6年度の変更点</p> <p>2025年、明治大学校友会(全国の卒業生による組織)の全国大会が福井で開催予定であるため、大学創設者の関係で鯖江市が積極的に参画する必要があると考える。</p> <p>R6方向性⇒ 維持</p> <p>CHECK(次年度方向性の目安)とR6年度方向性が異なる場合には、その理由</p>

【提案型市民主役事業実施】

年度	2020	2021	2022	2023	2024
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R5年度事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R6年度事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R5年度 事業名	運転免許自主返納支援事業
R4年度 事業名	運転免許自主返納支援事業

総合戦略 体系	433	安心で快適に暮らせるまちの創造	強靱で安全・安心なまち	交通安全の推進
------------	-----	-----------------	-------------	---------

PLAN (計画)	部署名	市民活躍課	開始年度	2013	終了年度	9999
	目的	高齢者の運転免許証の自主返納を支援し、近年増加する高齢者が加害者となる交通事故を減少させることを目的とする。				
	概要	運転免許を自主返納した高齢者の交通災害共済掛金を助成する(H25年度～)。 コミュニティバスの無料乗車券を発行する(H19年度～)。				
法令等 根拠		実施 形態	内 容	運転免許を自主返納した高齢者の交通災害共済掛金(1人500円)を助成する。		
現在	市直営					

DO (実施)	活動指標							
	指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	高齢者の交通安全教室の開催	回	目標値	60	60	40	40	40
			実績値	11	10	38		
	成果指標							
	指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	交通災害共済加入金の助成者数	人	目標値	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
			実績値	1,042	1,098	1,142		
	計算 根拠		達成率	104.2	109.8	114.2		
			実数値					
		ランク	A	A	A			
前年度 ランク B、Cの 理由								

【単位:千円】

事業費	区分	2019	2020	2021	2022	2023	タイプ	会計	一般会計
	予算額	421	510	534	550	600		事業タイプ	単独事業
	決算額	421	467	521	549			経費区分	物件費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R5年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	2	1	9	201	交通安全対策諸経費	9,451	600	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	600

No	R5年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	0.08
	会計年度職員	
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。
(1はい・0いいえ) はい いいえ

行政が実施すべき事業か。
(1はい・0いいえ) はい いいえ

住民等のニーズは増えているか。
(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)
 増加する見込み 横ばい 減少する見込み

国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。
(1ない・0ある) ない ある

事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。
(1ない・0ある) ない ある

合計点数	点数区分	次年度方向性の目安	判定
10	0点~8点	事務改善または廃止・休止	維持または事務改善
	9点~16点	維持または事務改善	

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)
 節減できている 横ばい 増加している

デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。
(2向上している・1横ばい・0低下している)
 向上している 横ばい 低下している

業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。
(2向上している・1横ばい・0低下している)
 向上している 横ばい 低下している

市民団体や事業者に業務委託しているか。
(1いる・0いない) いる いない

財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。
(1いる・0いない) いる いない

成果は目標を達成できているか。
(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)
 目標を達成できている 進展している 目標に向かっていない

ACTION

今年度 R5方向性⇒

取組内容 運転免許自主返納者のうち希望者に対し、①交通災害共済掛け金の永年無料化、②つづじバスの無料乗車券の永年交付により、高齢者の自主返納をより一層促進し、交通事故減少につなげる。
R5年度は、鯖江警察署と連携し、市内公民館(2か所)で、自主返納支援事業の出張受付窓口を実施する。
また、関係機関・団体等との連携により、自主返納者向けのサービス内容充実を図る。

来年度の実績 R4年度 高齢者の車の事故についての報道等により自主返納の件数は増加している。

R4年度実績とR5年度の経過を踏まえた課題
高齢者向け交通教室開催数は前年比では増加した。
高齢者の教室は、感染対策を徹底したうえで開催を希望する教室は開始し、対面による広報活動を実施した。
また、対面でのPRができない状況も踏まえ、今後も広報さばえやHPを活用した自主返納のサービスPRは必要である。

実績と課題を踏まえたR6年度の変更点
特になし

R6方向性⇒

CHECK(次年度方向性の目安)とR6年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民役事業実施】

年度	2020	2021	2022	2023	2024
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R5年度事業名

R6年度事業名

取組可能な事業の詳細⇒

R5年度 事業名	鯖江市役所JK課プロジェクト事業
R4年度 事業名	鯖江市役所JK課プロジェクト事業

総合戦略 体系	252	若者が住みたくなるまちの創造	参加と協働による市民主役	(女子) 高校生のまちづくり参加の促進
------------	-----	----------------	--------------	---------------------

PLAN (計画)	部署名	市民活躍課	開始年度	2014	終了年度	9999
	目的	女性の高校卒業後の転出や地域離れは顕著になっており、おしつけることなく、女子高生自らが企画し、大人を巻き込みながら地域活動を実践することを通じ、若者や女性が進んで行政参加を図っていく新たなモデル都市となることを目指す。				
	概要	第1回「おとな版地域活性化プランコンテスト」で提案された企画を事業化。これまで市政に関しては「無関心層」と言われてきた女子高校生が、まちづくりチーム(鯖江市役所JK課)を結成。女子高生が自由な環境下で大人を巻き込みながら活動することにより、予想外の化学反応が生まれるというコンセプトのもと、産官学連携の枠組みを活用し、女子高生の活動を市や関係者がバックアップしながら、ふるさとへの誇りを全ての世代で共有していく。				
	法令等 根拠		実施 形態	内容		
現在	民間等委託(一部)		市直営と民間委託(提案型市民主役事業:コード3681)での事業実施部分を分け、事業効果を向上させる。			

DO (実施)	活動指標							
	指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	活動日数	日	目標値	60	30	40	40	40
			実績値	28	44	67		
	成果指標							
	指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	鯖江市役所JK課オリジナル企画開催数	企画	目標値	5	2	3	4	4
			実績値	8	4	3		
	計算 根拠	(例)ピカピカプラン、水鉄砲水やり等	達成率	160	200	100		
			実数値					
		ランク	A	A	A			
前年度 ランク B、Cの 理由								

【単位:千円】

事業費	区分	2019	2020	2021	2022	2023	タイプ	会計	一般会計
	予算額	1,300	866	309	900	1,973		事業タイ	単独事業
	決算額	667	41	45	628			経費区分	物件費

歳出予算	No	款	項	目	事業	R5年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	2	1	14	214	学生連携事業費	5,061	1,973
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	1,973

補助金等	No	R5年度補助金等名称	金額(千円)
	1	デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進1/2)	800
	2		
	3		
	4		
	5以降		
		合計	800

事業要員	正規職員	0.3
	会計年度職員	
	※所要時間	0

DO(実施)

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ)	<input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ)	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	<input type="radio"/> 増加する見込み <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
合計点数	13
点数区分	0点~8点 9点~16点
次年度方向性の目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

効率性	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	<input checked="" type="radio"/> 節減できている <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input checked="" type="radio"/> 向上している <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input checked="" type="radio"/> 向上している <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
	市民団体や事業者による業務委託しているか。(1いる・0いない)	<input checked="" type="radio"/> いる <input type="radio"/> いない
有効性	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
	成果は目標を達成できているか。(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	<input checked="" type="radio"/> 目標を達成できている <input type="radio"/> 進展している <input type="radio"/> 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R5方向性⇒	事務改善(手段・サービス水準の見直し)
取組内容	新型コロナの感染状況を考慮しつつ、女子高校生がいかに関わり、まちづくりに親しみを持てるかを考え、原点回復として可能な限り鯖江市役所を活動の拠点とする。 また、令和3年度にJK課が「海と日本PROJECT推進パートナー」となったことで、福井県内の海洋ゴミ削減・SDGs推進に関するピカピカプラン等の企画を多方面に発信し、若者のまちづくり活動への参画意欲の向上と出番づくりを支援する。	
来年度へ向けて	R4年度の実績	県内6つの高校(高専)から38人が参加。コロナ禍で活動やイベントができないながら、ピカピカプラン海編、土木女子PRプロジェクト、子宮頸ガンワクチン勉強会などの新規企画を実施した。
	R4年度実績とR5年度の経過を踏まえた課題	R4年度のメンバー数が5校23人から6校38人に大幅に増えたため、各メンバーの希望や性格、キャラクターを把握した上で活動に結びつけるのは難しく、令和5年度も、32名が参加し、ひとりずつに寄り添った活動を行った。一方で、増員を活かした多彩な活動が期待される。「海と日本プロジェクト推進パートナー」としての活動を通し、リクエストが多かった取組の一つでも多く盛り込み、JK課としてのやりがいや出番づくりを進めたい。「海と日本プロジェクト」の活動は鯖江市が進めるSDGsを考えるきっかけにもなる。メンバー数は多いが、一人ひとりの満足度を高めてもらうための工夫や配慮が必要。
	実績と課題を踏まえたR6年度の変更点	令和6年度はJK課の10周年事業に関することを行い、JK課の存在意義を改めて社会に伝える好機と捉え、大人を巻き込んで事業を展開していきたい。
	R6方向性⇒	事務改善(業務プロセスの改善)
	CHECK(次年度方向性の目安)とR6年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民役事業実施】

年度	2020	2021	2022	2023	2024
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R5年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円):	0
R6年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R5年度 事業名	まちづくり応援団交付金（融和と協働のまちづくり事業交付金）
R4年度 事業名	まちづくり応援団交付金（融和と協働のまちづくり事業交付金）

総合戦略 体系	251	若者が住みたくなるまちの創造	参加と協働による市民主役	市民主役事業の推進
------------	-----	----------------	--------------	-----------

PLAN (計画)	部署名	市民活躍課	開始年度	2019	終了年度	9999
	目的	区長会連合会との協働により、地域住民が主役となり、市内全域でそれぞれの地区の特色を活かした地域活動を進め、住みよいまち・さばえの実現を図る。				
	概要	各地区に立ち上がったまちづくり応援団によるまちづくり活動に対して支援する。				
	法令等 根拠		実施 形態	内容		
現在	補助金等交付					

DO (実施)	活動指標								
		指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	各地区への広報数			目標値	1	1	1	1	1
				実績値	1	1	1		
	成果指標								
		指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	全地区・全部門からの応募数		部門	目標値	20	10	10	10	10
				実績値	16	6	7		
	計算 根拠	10地区×応援団部門		達成率	80.0	60.0	70.0		
				実数値					
				ランク	B	C	C		
	前年度 ランク B、Cの 理由	まちづくり応援団やまちづくり組織が新型コロナウイルス感染症の影響により活動できていない地区があったため。							

【単位:千円】

事業費	区分	2019	2020	2021	2022	2023	タイプ	会計	一般会計
	予算額	1,500	1,500	1,000	1,000	1,000		事業タイプ	単独事業
	決算額	1,410	1,250	598	700			経費区分	補助費等

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R5年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	2	1	14	202	融和と協働のまちづくり事業費	99,487	1,000	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	1,000

No	R5年度補助金等名称	金額(千円)
1	集落活性化支援事業補助金	500
2		
3		
4		
5以降		
合計		500

事業要員	正規職員	0.1
	会計年度職員	
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ) <input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している) <input type="radio"/> 節減できている <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ) <input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している) <input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み) <input checked="" type="radio"/> 増加する見込み <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している) <input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある) <input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある	市民団体や事業者による業務委託しているか。(1いる・0いない) <input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある) <input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない) <input checked="" type="radio"/> いる <input type="radio"/> いない
合計点数	10
点数区分	0点~8点
次年度方向性の目安	事務改善または廃止・休止
判定	維持または事務改善

ACTION

今年度 R5方向性⇒	事務改善(業務プロセスの改善)
取組内容	地域住民が主役となり、市内全域でそれぞれの地区の特色を活かした地域活動を推進する(まち美化部門は、市区長会連合会と協議の上、廃止した)。
来年度の実績	R4年度 7地区から申請があり、他3地区については申請がなかった。
R4年度実績とR5年度の経過を踏まえた課題	R4年度まで国・県の集落活性化支援事業の事業採択を受けていたが、R5年度も引き続き県の集落活性化支援事業の事業採択を受けることができる。R4年度までは新型コロナウイルス感染症対策のため地域活動に制限があり、まちづくり応援団の活動を実施しなかった地区があるが、R5年度は新型コロナウイルス感染症が5類に引き下げられたことを受け各地区でまちづくり応援団が活動を再開できるよう支援を考える必要がある。
実績と課題を踏まえたR6年度の変更点	未申請だった地区に対して、新型コロナウイルス感染症対策を行った活動(例えば、まちづくり応援団のこれまでの活動の発表の場を設けるなど)の働きかけを行う。
R6方向性⇒	維持
CHECK(次年度方向性の目安)とR6年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民主役事業実施】

年度	2020	2021	2022	2023	2024
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R5年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	
R6年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R5年度 事業名	鯖江市役所JK課プロジェクトサポート事業
R4年度 事業名	鯖江市役所JK課プロジェクトサポート事業

総合戦略 体系	211	若者が住みたくなるまちの創造	若者の夢を応援するまち ~よそ者に寛大で多 様性があるまち~	学生連携事業
------------	-----	----------------	-----------------------------------	--------

PLAN (計画)	部署名	市民活躍課	開始年度	2020	終了年度	9999
	目的	「鯖江市役所JK課プロジェクト」はそのスタート以来、行政が主な事務局を担っていたが、市民団体がプロジェクトをサポートすることで、事業の広がりやJK課と市民同士の連携の強化を図る。				
	概要	鯖江市役所JK課プロジェクトの基本コンセプトは「自分たちがやりたいことをやる、その結果、大人たちを巻き込んだまちづくりになっていた」。その実現のために、月1回程度の「やりたいことワークショップ」を開催し、年1件以上の新企画具現化をサポートする。				
法令等 根拠		実施 形態	内容			
現在	民間等委託(全部)					

DO (実施)	活動指標								
		指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
		鯖江市JKOG課活動日数	日	目標値	5	5	10	10	10
				実績値	6	34	19		
	成果指標								
		指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
		JK課新規自主企画の具現化	企画	目標値	1	1	1	2	2
				実績値	1	4	2		
	計算 根拠			達成率	100	400	200		
				実数値					
			ランク	A	A	A			
前年度 ランク B、Cの 理由									

【単位:千円】

事業費	区分	2019	2020	2021	2022	2023	タイプ	会計	一般会計
	予算額		300	540	350	350		事業タイプ	単独事業
	決算額		199	540	168			経費区分	物件費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R5年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	2	1	14	214	学生連携事業費	5,061	350	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	350

No	R5年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	
	会計年度職員	
	※所要時間	65

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ)	<input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ)	<input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	<input checked="" type="radio"/> 増加する見込み <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
合計点数	12
点数区分	0点~8点 9点~16点
次年度方向性の目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	<input checked="" type="radio"/> 節減できている <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input checked="" type="radio"/> 向上している <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
市民団体や事業者に業務委託しているか。(1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
成果は目標を達成できているか。(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	<input checked="" type="radio"/> 目標を達成できている <input type="radio"/> 進展している <input type="radio"/> 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R5方向性⇒ <input type="text" value="維持"/>
取組内容	市民団体が、現役JK課メンバーならではのやりたいこと、面白いと思うことを月1回ベースの会議で話し合い、企画の立案をサポートする。また、令和5年度はJK課プロジェクトが発足して10年目となることから、節目を迎えるタイミングを契機とするJK課卒業生を交えた企画やプロジェクトの拡大を図る企画を検討していく。
来年度へ向けて	R4年度の実績 ワークショップ開催:年間19回 新企画具現化(水遊び、トボジョ企画)
	R4年度実績とR5年度の経過を踏まえた課題 令和4年度は市民に参加してもらえらるイベントにできるよう、様々なプランの伴走を行った。令和5年度はJK課が海ごみを考える「海と日本プロジェクト」推進パートナーになって3年目を迎え、メンバーの興味・関心を引き出しつつ、SDGsにつながる活動を展開したい。さらに、令和5年度はJK課発足10年の節目を迎えることから、令和5年度にどのような取り組みをしていくかについて、JK課メンバーとの連携を密にしながらその土台を作っていくことが期待される。
	実績と課題を踏まえたR6年度の変更点 JK課発足10年をシティープロモーションと改めてのブランディングの好機と捉え、これまでの経験と蓄積を活かしたより発信力の高い取組を進めたい。
	R6方向性⇒ <input type="text" value="維持"/>
	CHECK(次年度方向性の目安)とR6年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民主役事業実施】

年度	2020	2021	2022	2023	2024
取組選択	可能	可能	可能	可能	可能
実施状況	実施	実施	実施	実施	未実施

R5年度事業名	鯖江市役所JK課プロジェクトサポート事業
	市民主役事業にかかる額(単位千円): <input type="text" value="500"/>

R6年度事業名	鯖江市役所JK課プロジェクトサポート事業
	市民主役事業にかかる額(単位千円): <input type="text" value="500"/>

取組可能な事業の詳細⇒

R5年度 事業名	市民主役フェス事業
R4年度 事業名	市民活躍プロモーション事業

総合戦略 体系	251	若者が住みたくなるまちの創造	参加と協働による市民主役	市民主役事業の推進
------------	-----	----------------	--------------	-----------

PLAN (計画)	部署名	市民活躍課	開始年度	2022	終了年度	2024
	目的	市民活動の担い手育成と関係人材の拡大を目的に、市民が参画し、「市民活躍」をテーマにしたプロモーション事業を展開する。				
	概要	市民主役のまちづくり活動をしっかりと発信することで活動の見える化を図るとともに、新たな層がチャレンジするきっかけづくりや若い世代がまちづくり企画を具現化する場づくりを行う。				
法令等 根拠		実施 形態	内容	事業の企画・運営・設営等		
現在	民間等委託(一部)					

活動指標								
	指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
設定困難			目標値					
			実績値					
成果指標								
	指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
イベント来場者数		人	目標値			1000	1000	1000
			実績値			1668		
計算 根拠			達成率			166.8		
			実数値					
			ランク			A		
前年度 ランク B、Cの 理由								

DO
(実施)

【単位:千円】

事業費	区分	2019	2020	2021	2022	2023	タイプ	会計	一般会計
	予算額				4,500	2,000		事業タイプ	単独事業
	決算額				4,500			経費区分	物件費

No	款	項	目	事業	R5年度事業名			
					予算書額	うち事業額(千円)		
1	2	1	14	211	民間活力推進事務諸経費	2,931	2,000	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	2,000

No	R5年度補助金等名称	金額(千円)
1	デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進1/2)	1,000
2		
3		
4		
5以降		
合計		1,000

事業要員	正規職員	0.1
	会計年度職員	0
	※所要時間	

DO(実施)

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ)	<input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ)	<input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	<input checked="" type="radio"/> 増加する見込み <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
合計点数	11
点数区分	0点～8点 9点～16点
次年度方向性の目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	<input checked="" type="radio"/> 節減できている <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input checked="" type="radio"/> 向上している <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
市民団体や事業者による業務委託しているか。(1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
成果は目標を達成できているか。(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	<input type="radio"/> 目標を達成できている <input checked="" type="radio"/> 進展している <input type="radio"/> 目標に向かっていない

ACTION

今年度 R5方向性⇒	維持
取組内容	令和4年度は「市民活躍プロモーション事業」として実施したが、令和5年度より「市民役フェス事業」に事業名を変更。より市民役の実現を図るため、事業の企画・実施主体を意欲ある市民活動団体実行委員会が担う。

来年度へ向けて	<p>R4年度の実績 新たな市民活動や新たな層の市民参画のきっかけに繋げるため、～いま、私にできること～をテーマに、さばえ市民役EXPO2022を10月に10日間開催し、約1600人が来場。「さばえ市民役展」と称して、鯖江の市民活動がいかにか形作られてきたのかを過去・現在に分けて紹介し、団体それぞれが目指す未来のさばえを描く3部構成で展示。</p> <p>R4年度実績とR5年度の経過を踏まえた課題 単独の団体では上手く伝えきれない「市民力」を発信できる場をしっかりと設け、まちづくり活動の関係者拡大につなげることを目的としているが、活動している方の偏りと分散化が事業課題として挙げられる。より市民役の実現を図るため、事業の企画・実施主体を意欲ある市民活動団体等に移行していく必要がある。</p> <p>実績と課題を踏まえたR6年度の変更点 令和4年度は「市民活躍プロモーション事業」として実施したが、令和5年度より「市民役フェス事業」に事業名を変更しており、今後も当名称で継続したい。なお、サバシ総会事業(2839)を統合する。</p> <p>R6方向性⇒ 事務改善(他事業との連携・統合)</p> <p>CHECK(次年度方向性の目安)とR6年度方向性が異なる場合には、その理由</p>
---------	---

【提案型市民役事業実施】					
年度	2020	2021	2022	2023	2024
取組選択			不可能	不可能	可能
実施状況			未実施	未実施	未実施

R5年度事業名	市民役フェス事業	市民役事業にかかる額(単位千円):	0
R6年度事業名	市民役フェス事業	市民役事業にかかる額(単位千円):	2,000

取組可能な事業の詳細⇒

R5年度 事業名	交流寺プロジェクト事業
R4年度 事業名	交流寺プロジェクト事業

総合戦略 体系	531	世界のめがねの聖地SABAEの確立 に向けた組織強化	人権尊重と地域連携の推進	共生社会の推進
------------	-----	-------------------------------	--------------	---------

PLAN (計画)	部署名	市民活躍課	開始年度	2022	終了年度	2024
	目的	国際留学生の居場所づくりや100人以上となった市内外国人の住みやすさ向上				
	概要	市内のお寺を活用し、学生団体の自由なアイデアのもと、外国人市民と地域住民が多文化共生を感じられる国際交流イベントの開催				
法令等 根拠		実施 形態	内容			
現在	民間等委託(一部)					

DO (実施)	活動指標							
	指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	交流寺イベント開催回数	回	目標値			1	1	1
			実績値			2		
	成果指標							
	指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	外国人と日本人の参加人数	人	目標値			40	40	40
			実績値			82		
	計算 根拠		達成率			205		
			実数値					
		ランク			A			
前年度 ランク B、Cの 理由								

【単位:千円】

事業費	区分	2019	2020	2021	2022	2023	タイプ	会計	一般会計
	予算額				300	200		事業タイプ	単独事業
	決算額				224			経費区分	物件費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R5年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	2	1	14	214	学生連携事業費	5,061	200	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	200

No	R5年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	0.1
	会計年度職員	0
	※所要時間	

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ) <input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している) <input checked="" type="radio"/> 節減できている <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している) <input checked="" type="radio"/> 向上している <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している 業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している) <input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している 市民団体や事業者に業務委託しているか。(1いる・0いない) <input checked="" type="radio"/> いる <input type="radio"/> いない 財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない) <input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない 成果は目標を達成できているか。(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない) <input checked="" type="radio"/> 目標を達成できている <input type="radio"/> 進展している <input type="radio"/> 目標に向かっていない									
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ) <input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ										
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み) <input checked="" type="radio"/> 増加する見込み <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み										
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある) <input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある										
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある) <input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>合計点数</th> <th>点数区分</th> <th>次年度方向性の目安</th> <th>判定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">12</td> <td>0点~8点</td> <td>事務改善または廃止・休止</td> <td rowspan="2">維持または事務改善</td> </tr> <tr> <td>9点~16点</td> <td>維持または事務改善</td> </tr> </tbody> </table>	合計点数	点数区分	次年度方向性の目安	判定	12	0点~8点	事務改善または廃止・休止	維持または事務改善	9点~16点	維持または事務改善
合計点数	点数区分	次年度方向性の目安	判定							
12	0点~8点	事務改善または廃止・休止	維持または事務改善							
	9点~16点	維持または事務改善								

ACTION

今年度	R5方向性⇒ <input type="text" value="維持"/>
取組内容	高校生たちが考えたお寺(本山誠照寺)で国際交流を行うイベントを行う。英語でコミュニケーションをとりながら、たのしめるゲームで遊び、鯖江のまちを散策し、多文化共生推進の意識の浸透と、地域の方との交流を促す。
来年度へ向けて	R4年度の実績 1回目は本法寺で英語でフルーツバスケットや手作りの福笑いを行い、鯖江を散策し、和菓子店で御菓子を購入した。2回目は誠照寺で近松座による三番叟体験と手作り英語カルタなどで交流を行い、鯖江の良さを体感してもらった。 R4年度実績とR5年度の経過を踏まえた課題 外国人の方を集める方法が難しいため、在住する外国人が利用するお店の方の協力やネットワークをもつ外国人の方と繋がりを大切にして、事業を進める必要がある。 実績と課題を踏まえたR6年度の変更点 令和4年度は「交流寺事業」を開催し地元や外国人にも好評だった。令和5年度も実施し、より外国人と日本人の交流を促せるよう、内容の作りこみと、外国人が訪れやすいまちになるよう敷居を下げる工夫を行いたい。 R6方向性⇒ <input type="text" value="維持"/> CHECK(次年度方向性の目安)とR6年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民役事業実施】

年度	2020	2021	2022	2023	2024
取組選択			可能	可能	可能
実施状況			実施	実施	実施

R5年度事業名	交流寺プロジェクト事業
	市民役事業にかかる額(単位千円): <input type="text" value="200"/>

R6年度事業名	交流寺プロジェクト事業
	市民役事業にかかる額(単位千円): <input type="text" value="200"/>

取組可能な事業の詳細⇒